

設置年度

令和 4年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更  
注1

**事前相談**

注2

京都教育大学大学院 連合教職実践研究科 教職実践専攻

(専門職学位課程)

**【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書**  
(改正前大学設置基準適用)

国立大学法人京都教育大学  
令和5年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	総務・企画課
職名・氏名	カチョウ ミナモトタダヒロ 課長 南本 忠宏
電話番号 (夜間)	075-644-8121
e-mail	kikakoho@kyokyo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

大学院連合教職実践研究科

＜教職実践専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	38

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人京都教育大学

## (2) 大学名

京都教育大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒612-8522

京都府京都市伏見区深草藤森町1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オオタ コウジン) 太田 耕人 (令和2年4月)		
研究科長	(オオタ コウジン) 太田 耕人 (令和4年4月)		
副学長(連合教職実践研究科担当)	(チクサ トモアキ) 竺沙 知章 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)  
令和5年度に報告する内容 → (5)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。  
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
連合教職実践研究科 教職修士(専門職)	教員養成関係	2年	95人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	190人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	人	人	人	人	人	人	人	95人	1人	95人	1人							
	志願者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	98	-	108	-							
	受験者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	96	-	105	-							
	合格者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	86	-	94	-							
B	入学者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	75	-	84	-							
	入学定員超過率 B/A								0.78		0.88								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。  
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。  
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	84 [ - ] ( - )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	64 [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
4年次	/				[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	64 [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	84 [ - ] ( - )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	75 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	148 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{75} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{148} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<連合教職実践研究科 教職実践専攻>

(1) - ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
共通科目	(1)教育課程の編成・実施に関する領域	カリキュラムの開発と実践A	1-2前	2								
		カリキュラムの開発と実践B	1-2前	2		1						
		カリキュラムの開発と実践C	1-2後	2		3	1					
	(2)教科等の実践的な指導方法に関する領域	授業デザインとICT活用A	1-2後	2				2	1			1
		授業デザインとICT活用C	1-2前	2		5	2					
		教科指導実践演習A	1-2前	2		2	1					1
		教科指導実践演習B	1-2前	2		2						1
		教科指導実践演習C	1-2後	2		1	3					1
	(3)生徒指導・教育相談に関する領域	生徒指導・教育相談の理論と実践A	1-2前	2		1						
		生徒指導・教育相談の理論と実践B	1-2前	2		2	2					
		生徒指導・教育相談の理論と実践C	1-2前	2		2	2					1
		生徒指導・教育相談実践演習	1-2後	2		3						
		幼児期の教育相談	1-2後	2		1						1
	(4)学級経営・学校経営に関する領域	学級経営の実践と課題A	1-2後	2		1						
		学級経営の実践と課題B	1-2前	2		1						
		学級経営の実践と課題C	1-2前	2		1	2					
		学校づくりと学校経営A	1-2後	2		1						1
		学校づくりと学校経営B	1-2後	2		2						
	(5)学校教育と教員の在り方に関する領域	現代社会と学校教育	1-2前	2		1	2					
		教員の職務と役割	1-2後	2		1	1					2
社会と学校教育・教員における現代的課題		1-2前	2		1	1					2	
小計(24科目)		-	48		19	13	1				9	
教職専門実習		学校臨床専門実習Ⅰ	1通	3		9	5	1			4	
コア必修科目	初任期間教員養成コース	特別支援教育の理論と実践	1-2後	2		2					1	
		現代的教育課題の教材化と授業実践	1-2後	2		1						
		学校臨床とかかわり合う力A	1-2後	2		1					1	
		学校における心理教育	1-2前	2		1						
	中核教員・リーダー教員養成コース	学校臨床とかかわり合う力B	1-2前	2		1					1	
		現代の公教育と人間形成の課題	1-2前	2		1						
		小計(2科目)	-	4		2	3				2	
		学校臨床力高度化系コース	省察実践研究Ⅰ	1通	2		8	4	1			4
	人間発達探究コース	省察実践研究Ⅱ	2通	2		8	4	1			4	
		小計(2科目)	-	4		8	4	1			4	
		人間発達セミナー	1-2前	2		4	1				3	
		認知発達と学習の心理学	1-2後	2		1						
	教科研究開発高度化系	特別支援教育の理論と実践	1-2後	2		2					1	
		子育て支援の理論	1-2後	2		2					1	
		小計(4科目)	-	8		6	1				5	
		教科カリキュラム開発セミナー	1-2前	2		3						
	教科研究開発高度化系共通	教科授業開発セミナー	1-2後	2		3						
		小計(2科目)	-	4		4					0	
		教育実践研究セミナー	1-2前	2		1					3	
		実践課題研究Ⅰ	1通	2		16	7					
コア選択科目	初任期間教員養成コース	授業コミュニケーション論	1-2前	2		1	1				1	
		授業研究の理論と実践	1-2前	2		1	1					
		授業力高度化演習	1-2後	2		2	1	1			1	
	中核教員・リーダー教員養成コース	教育政策と教育行政・学校経営の課題	1-2前	2		1						
学校・教員の裁量権と法的責任		1-2後	2		1							
学校づくりとリーダーシップ		1-2後	2		1					1		
人間発達探究コース	学校組織改善の理論と手法	1-2前	2		1					1		
	教職員の意識と成長	1-2前	2		2					1		
	カリキュラムマネジメント	1-2後	2		2							
	小計(6科目)	-	12		4					5		
教科研究開発高度化系	学校におけるグループダイナミクス演習Ⅰ	1-2前	2		1					1		
	学校におけるグループダイナミクス演習Ⅱ	1-2後	2		1							
	危機管理のための事例演習	1-2後	2		1					1		
	子ども理解と臨床技法	1-2前	2		2					1		
教科研究開発高度化系	幼小接続の理論と実践	1-2前	2		1					3		
	子育て支援の実践	1-2後	2		1					1		
	小計(2科目)	-	4		2					4		
	言語・文化セミナー	1-2前	2		1	1						
教科研究開発高度化系	人間発達探究コース	公共・文化セミナー	1-2前	2		1	1					
		数理自然・技術セミナー	1-2前	2		3						
		健康・生活デザインセミナー	1-2前	2		1	1				8	
		芸術探究セミナー	1-2前	2		2						
		国語科教育実践演習 - 日本語学 -	1-2前	2		2					1	
		国語科教育実践演習 - 近現代文学 -	1-2前	2		2					1	
		国語科教育実践演習 - 漢文学 -	1-2後	2		2					1	
		国語科教育実践演習 - 日本語教育学 -	1-2後	2		2					1	
		社会科教育実践演習 - 日本史 -	1-2前	2		1					1	
		社会科教育実践演習 - 西洋史 -	1-2前	2		1					1	
		社会科教育実践演習 - 近現代史 -	1-2前	2		1					1	
		社会科教育実践演習 - 地理 -	1-2前	2		1					1	
社会科教育実践演習 - 法律 -	1-2前	2		1					1			
社会科教育実践演習 - 政治 -	1-2前	2		1					1			
社会科教育実践演習 - 社会学 -	1-2後	2		1					1			





卒業要件及び履修方法
<p>○卒業要件 修了要件単位数:46単位 履修登録の上限:年間34単位</p> <p>○履修方法</p> <p>I. 学校臨床力高度化系 初任期教員養成コース</p> <p>1. 共通科目(共通5領域)…各領域から以下のように必修(計8科目16単位)</p> <p>(1)教育課程の編成及び実施に関する領域 「カリキュラムの開発と実践A」1科目2単位必修</p> <p>(2)教科等の実践的な指導方法に関する領域 「授業デザインとICT活用A」教科指導実践演習A」2科目4単位必修</p> <p>(3)生徒指導及び教育相談に関する領域 「生徒指導・教育相談の理論と実践A」1科目2単位必修</p> <p>(4)学級経営及び学校経営に関する領域 「学級経営の実践と課題A」「学校づくりと学校経営A」2科目4単位必修</p> <p>(5)学校教育と教員の在り方に関する領域 「現代社会と学校教育」教員の職務と役割」2科目4単位必修</p> <p>2. 教職専門実習 「学校臨床専門実習Ⅰ・Ⅱ」計10単位必修</p> <p>3. コース必修科目 「初任期教員養成コース」指定の4科目8単位及び「学校臨床力高度化系コース共通」の2科目4単位(計6科目12単位)を必修とする。</p> <p>4. コース選択科目 「初任期教員養成コース」指定の3科目6単位及び「学校臨床力高度化系コース共通」の4科目8単位から、4科目8単位以上を選択する。なお、他の系・コースに設けられた科目であっても履修することができるが、この場合、修了要件及び履修基準の単位数に含めることはできないものとする。</p> <p>II. 学校臨床力高度化系 中核教員・リーダー教員養成コース</p> <p>1. 共通科目(共通5領域)…各領域から以下のように必修(計8科目16単位)</p> <p>(1)教育課程の編成及び実施に関する領域 「カリキュラムの開発と実践B」1科目2単位必修</p> <p>(2)教科等の実践的な指導方法に関する領域 「授業デザインとICT活用A」教科指導実践演習B」2科目4単位必修</p> <p>(3)生徒指導及び教育相談に関する領域 「生徒指導・教育相談の理論と実践B」1科目2単位必修</p> <p>(4)学級経営及び学校経営に関する領域 「学級経営の実践と課題B」「学校づくりと学校経営B」2科目4単位必修</p> <p>(5)学校教育と教員の在り方に関する領域 「現代社会と学校教育」教員の職務と役割」2科目4単位必修</p> <p>2. 教職専門実習 「学校臨床専門実習Ⅰ・Ⅱ」計10単位を必修とする。なお、教職経験6年以上の者については、その教職経験によって得られた教育実践上の課題に関するレポートを提出させ、教職専門実習を所掌する委員会及び教授会において審査を行った上で、「学校臨床専門実習Ⅰ」(3単位)を履修したとみなして、履修を免除する場合がある。</p> <p>3. コース必修科目 「中核教員・リーダー教員養成コース」指定の2科目4単位及び「学校臨床力高度化系コース共通」の2科目4単位(計4科目8単位)を必修とする。</p> <p>4. コース選択科目 「中核教員・リーダー教員養成コース」指定の6科目12単位及び「学校臨床力高度化系コース共通」の4科目8単位から、6科目12単位以上を選択する。なお、他の系・コースに設けられた科目であっても履修することができるが、この場合、修了要件及び履修基準の単位数に含めることはできないものとする。</p>

卒業要件及び履修方法
<p>○卒業要件 修了要件単位数:46単位 履修登録の上限:年間34単位</p> <p>○履修方法</p> <p>I. 学校臨床力高度化系 初任期教員養成コース</p> <p>1. 共通科目(共通5領域)…各領域から以下のように必修(計8科目16単位)</p> <p>(1)教育課程の編成及び実施に関する領域 「カリキュラムの開発と実践A」1科目2単位必修</p> <p>(2)教科等の実践的な指導方法に関する領域 「授業デザインとICT活用A」「教科指導実践演習A」2科目4単位必修</p> <p>(3)生徒指導及び教育相談に関する領域 「生徒指導・教育相談の理論と実践A」1科目2単位必修</p> <p>(4)学級経営及び学校経営に関する領域 「学級経営の実践と課題A」「学校づくりと学校経営A」2科目4単位必修</p> <p>(5)学校教育と教員の在り方に関する領域 「現代社会と学校教育」教員の職務と役割」2科目4単位必修</p> <p>2. 教職専門実習 「学校臨床専門実習Ⅰ・Ⅱ」計10単位必修</p> <p>3. コース必修科目 「初任期教員養成コース」指定の4科目8単位及び「学校臨床力高度化系コース共通」の2科目4単位(計6科目12単位)を必修とする。</p> <p>4. コース選択科目 「初任期教員養成コース」指定の3科目6単位及び「学校臨床力高度化系コース共通」の4科目8単位から、4科目8単位以上を選択する。なお、他の系・コースに設けられた科目であっても履修することができるが、この場合、修了要件及び履修基準の単位数に含めることはできないものとする。</p> <p>II. 学校臨床力高度化系 中核教員・リーダー教員養成コース</p> <p>1. 共通科目(共通5領域)…各領域から以下のように必修(計8科目16単位)</p> <p>(1)教育課程の編成及び実施に関する領域 「カリキュラムの開発と実践B」1科目2単位必修</p> <p>(2)教科等の実践的な指導方法に関する領域 「授業デザインとICT活用A」教科指導実践演習B」2科目4単位必修</p> <p>(3)生徒指導及び教育相談に関する領域 「生徒指導・教育相談の理論と実践B」1科目2単位必修</p> <p>(4)学級経営及び学校経営に関する領域 「学級経営の実践と課題B」「学校づくりと学校経営B」2科目4単位必修</p> <p>(5)学校教育と教員の在り方に関する領域 「現代社会と学校教育」教員の職務と役割」2科目4単位必修</p> <p>2. 教職専門実習 「学校臨床専門実習Ⅰ・Ⅱ」計10単位を必修とする。なお、教職経験6年以上の者については、その教職経験によって得られた教育実践上の課題に関するレポートを提出させ、教職専門実習を所掌する委員会及び教授会において審査を行った上で、「学校臨床専門実習Ⅰ」(3単位)を履修したとみなして、履修を免除する場合がある。</p> <p>3. コース必修科目 「中核教員・リーダー教員養成コース」指定の2科目4単位及び「学校臨床力高度化系コース共通」の2科目4単位(計4科目8単位)を必修とする。</p> <p>4. コース選択科目 「中核教員・リーダー教員養成コース」指定の6科目12単位及び「学校臨床力高度化系コース共通」の4科目8単位から、6科目12単位以上を選択する。なお、他の系・コースに設けられた科目であっても履修することができるが、この場合、修了要件及び履修基準の単位数に含めることはできないものとする。</p>

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
(1)教育課程の編成・実施に関する領域	カリキュラムの開発と実践A	1・2前	2	1	1	1						
	カリキュラムの開発と実践B	1・2前	2	1	1							
	カリキュラムの開発と実践C	1・2後	2	3	1							
	(2)教科等の実践的な指導方法に関する領域	授業デザインとICT活用A	1・2後	2			5	1	1			1
		授業デザインとICT活用C	1・2前	2			2	3				1
		教科指導実践演習A	1・2前	2			2					1
		教科指導実践演習B	1・2前	2			1	3				1
		教科指導実践演習C	1・2前	2			1	1				1
	保育内容指導法演習	1・2前	2			1	1				1	
	(3)生徒指導・教育相談に関する領域	生徒指導・教育相談の理論と実践A	1・2前	2			1					
		生徒指導・教育相談の理論と実践B	1・2前	2			2					
		生徒指導・教育相談の理論と実践C	1・2前	2			2	2				1
		生徒指導・教育相談実践演習	1・2後	2			2	3				
		幼児期の教育相談	1・2後	2			1	1				1
	(4)学級経営・学校経営に関する領域	学級経営の実践と課題A	2後	2			1					
学級経営の実践と課題B		1・2前	2			1						
学級経営の実践と課題C		1・2後/前	2			1	3					
学校づくりと学校経営A		1・2後	2			0					1	
学校づくりと学校経営B		1・2後	2			2						
学校づくりと学校経営C		1・2後	2			3						
(5)学校教育と教員の在り方に関する領域	現代社会と学校教育	1・2前	2			1	2					
	教員の職務と役割	1・2後	2			2	1				3	
	社会と学校教育・教員における現代的課題	1・2後	2			2	1				3	
	小計(24科目)	—	48			20	17	1			10	
教職専門実習	学校臨床専門実習Ⅰ	1通	3			11	8	1			4	
	学校臨床専門実習Ⅱ	1・2通	7			11	8	1			4	
	教科研究専門実習Ⅰ	1通	3			21	17					
	教科研究専門実習Ⅱ	1・2通	7			21	17					
	小計(4科目)	—	20			32	25	1			4	
学校臨床力高度化系	初任期教員養成コース	特別支援教育の理論と実践	1・2前	2		2					1	
		現代的教育課題の教材化と授業実践	2後	2		1	1					
		学校臨床とかかわり合う力A	1・2後	2			1				1	
		学校における心理教育	1・2前	2			1					
		小計(4科目)	—	8			3	3			2	
	中核教員・リーダー教員養成コース	学校臨床とかかわり合う力B	1・2前	2			0				1	
		現代の公教育と人間形成の課題	1・2前	2			1					
		小計(2科目)	—	4			1	0			1	
	学校臨床力高度化系コース共通	省察実践研究Ⅰ	1通	2			10	5	1		4	
		省察実践研究Ⅱ	1・2通	2			10	5	1		4	
	小計(2科目)	—	4			10	5	1		4		
教科研究開発高度化系	人間発達探究コース	人間発達セミナー	1前	2		5					4	
		認知発達と学習の心理学	1・2後	2		1						
		特別支援教育の理論と実践	1・2後	2		2	1					
		子育て支援の理論	1・2後	2			1				1	
		小計(4科目)	—	8			7	2			5	
教科学習探究コース	教科カリキュラム開発セミナー	1・2後	2		3	2						
	教科授業開発セミナー	1・2後	2		3	1						
	小計(2科目)	—	4			4	2			0		
教科研究開発高度化系コース共通	教育実践研究セミナー	1後	2			2				2		
	実践課題研究Ⅰ	1通	2			17	6					
	実践課題研究Ⅱ	2通	2			17	6					
	小計(3科目)	—	6			17	6			2		
	小計(17科目)	—	34			27	19	1			11	
学校臨床力高度化系	初任期教員養成コース	授業コミュニケーション論	1・2前	2			1	1				
		授業研究の理論と実践	1・2後	2			1	2				
		授業力高度化演習	1・2後	2			2	2	1		1	
		小計(3科目)	—	6			3	5	1		1	
	中核教員・リーダー教員養成コース	教育政策と教育行政・学校経営の課題	1・2前	2			1					
		学校・教員の裁量権と法的責任	1・2後	2			1					
		学校づくりとリーダーシップ	1・2後	2			1					
		学校組織改善の理論と手法	1・2前	2			1				1	
		教職員の意識と成長	1・2前	2							1	
		カリキュラムマネジメント	1・2後	2			2					
	小計(6科目)	—	12			5				1		
学校臨床力高度化系コース共通	学校におけるグループダイナミクス演習Ⅰ	1・2前	2			1						
	学校におけるグループダイナミクス演習Ⅱ	1・2後	2			1						
	危機管理のための事例演習	1・2後	2			1	1					
	子ども理解と臨床技法	1・2前	2				1			1		
	小計(4科目)	—	8			1	3			1		
教科研究開発高度化系	人間発達探究コース	幼小接続の理論と実践	1・2後	2		1						
		子育て支援の実践	1・2後	2		1	1					
		小計(2科目)	—	4			2	1				
	教科学習探究コース	言語・文化セミナー	1前	2		1	1					
		公共・文化セミナー	1前	2		1	1					
		数理自然・技術セミナー	1前	2		3						
		健康・生活デザインセミナー	1前	2		1	1				11	
		芸術探究セミナー	1前	2			2					
		国際科教育実践演習 -日本語学-(※開講)	1・2前	2							0	
		国際科教育実践演習 -近現代文学-	1・2前	2							1	
		国際科教育実践演習 -古典文学-	1・2前	2							1	
		国際科教育実践演習 -漢文学-	1・2後	2							1	
		国際科教育実践演習 -日本語教育学-	1・2後	2							1	
		社会科教育実践演習 -日本史-	1・2前	2			1				1	
		社会科教育実践演習 -西洋史-	1・2前/後	2							1	
	社会科教育実践演習 -近代史-	1・2後	2							1		
	社会科教育実践演習 -地理-	1・2前	2							1		
	社会科教育実践演習 -法律-	1・2前	2							1		
	社会科教育実践演習 -政治-	1・2前	2							1		
	社会科教育実践演習 -社会学-	1・2前	2							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース選択科目 教科研究開発高度化系	社会科学教育実践演習 一経済一	1・2後	2								1	
	社会科学教育実践演習 一倫理一	1・2前	2		1						1	
	数学科教育実践演習 一解析一	1・2前	2								1	
	数学科教育実践演習 一応用数学一	1・2前	2								1	
	理科教育実践演習 一科学教育一	1・2後	2		1						1	
	理科教育実践演習 一放射線物理学一	1・2前	2								1	
	理科教育実践演習 一分析化学一	1・2前	2								1	
	理科教育実践演習 一有機化学一	1・2前	2								1	
	理科教育実践演習 一動物分類形態学一	1・2前	2								1	
	理科教育実践演習 一生態学一	1・2後	2								1	
	理科教育実践演習 一植物進化形態学一	1・2後	2								1	
	理科教育実践演習 一地質鉱物学一	1・2後	2								1	
	理科教育実践演習 一理科教育一	1・2後	2								1	
	音楽科教育実践演習 一音楽一	1・2後	2								1	
	音楽科教育実践演習 一器楽一	1・2前	2								1	
	音楽科教育実践演習 一伴奏一	1・2後	2								1	
	音楽科教育実践演習 一鑑賞一	1・2前	2								1	
	音楽科教育実践演習 一創作一	1・2後	2								1	
	音楽科教育実践演習 一授業実践史一	1・2前	2			1					1	
	美術科教育実践演習 一絵画一	1・2後	2								1	
	美術科教育実践演習 一デザイン一	1・2前	2								1	
	美術科教育実践演習 一工芸一	1・2前	2								1	
	美術科教育実践演習 一美学・美術理論一	1・2後	2				1				1	
	美術科教育実践演習 一美術教育史一	1・2後	2								1	
	美術科教育実践演習 一書道一	1・2前	2								1	
	保健体育科教育実践演習 一体育学一	1・2後	2								1	
	保健体育科教育実践演習 一運動生理学一	1・2後	2								1	
	保健体育科教育実践演習 一健康社会学一	1・2前	2								1	
	保健体育科教育実践演習 一学校保健一	1・2後	2								1	
	保健体育科教育実践演習 一バイオメカニクス一	1・2後	2				1				1	
	技術科教育実践演習 一機械一	1・2後	2								1	
	技術科教育実践演習 一電気一	1・2前	2								1	
	技術科教育実践演習 一生物育成一	1・2後	2								1	
	技術科教育実践演習 一シミュレーション情報一	1・2前	2								1	
	技術科教育実践演習 一情報ネットワーク一	1・2後	2								1	
	家庭科教育実践演習 一衣生活一	1・2後	2								1	
	家庭科教育実践演習 一食生活一	1・2後	2								1	
	家庭科教育実践演習 一住生活一	1・2後	2								1	
	家庭科教育実践演習 一保育一	1・2後	2								1	
	家庭科教育実践演習 一生活工学とICT教育一	1・2後	2								1	
	英語科教育実践演習 一構文文法論一	1・2後	2								1	
	英語科教育実践演習 一イギリス文学論一	1・2後	2								1	
	英語科教育実践演習 一語彙指導一	1・2前	2								1	
	小計(60科目)			120		6	5					49
	教科研究開発高度化系コース共通	授業力熟達の理論と課題	1・2後	2		1						1
		学校における道徳教育と道徳科	1・2後/前	2		1						1
		子どもの臨床心理学的アセスメントと支援	1・2後	2			1					1
		発達障害の特性と基本的対応	1・2後/前	2			1					3
		教科内容構成論 一国語科一	1・2前	2								1
教科内容構成論 一社会科一		1・2前	2								4	
教科内容構成論 一数学科一		1・2前	2								4	
教科内容構成論 一理科一		1・2前	2		1						3	
教科内容構成論 一音楽科一		1・2後/前	2			1					5	
教科内容構成論 一美術科一		1・2後	2			1					5	
教科内容構成論 一保健体育科一		1・2後	2								3	
教科内容構成論 一技術科一		1・2前	2		1						5	
教科内容構成論 一家庭科一		1・2後/前	2		1						2	
教科内容構成論 一英語科一		1・2前	2		1						2	
教科内容教材論 一国語科一		1・2後	2								3	
教科内容教材論 一社会科一		1・2後	2								5	
教科内容教材論 一数学科一		1・2後	2								1	
教科内容教材論 一物理一		1・2前	2		1						2	
教科内容教材論 一化学一		1・2後	2								1	
教科内容教材論 一生物一		1・2前	2								3	
教科内容教材論 一地学一		1・2前	2								2	
教科内容教材論 一音楽科一		1・2前	2		1						5	
教科内容教材論 一美術科一		1・2前	2			1					5	
教科内容教材論 一保健体育科一		1・2前	2			1					1	
教科内容教材論 一技術科一		1・2後	2		1						5	
教科内容教材論 一家庭科一		1・2前	2		1						2	
教科内容教材論 一英語科一		1・2前	2								3	
小計(27科目)			54		7	5					56	
小計(102科目)			204		19	16	1				61	
合計(147科目)			306		32	25	1				86	

卒業要件及び履修方法

○卒業要件

修了要件単位数:46単位 履修登録の上限:年間34単位

○履修方法

I. 学校臨床力高度化系 初任期教員養成コース

1. 共通科目(共通5領域)…各領域から以下のように必修(計8科目16単位)

(1)教育課程の編成及び実施に関する領域

「カリキュラムの開発と実践A」1科目2単位必修

(2)教科等の実践的な指導方法に関する領域

「授業デザインとICT活用A」教科指導実践演習A」2科目4単位必修

(3)生徒指導及び教育相談に関する領域

「生徒指導・教育相談の理論と実践A」1科目2単位必修

(4)学級経営及び学校経営に関する領域

「学級経営の実践と課題A」「学校づくりと学校経営A」2科目4単位必修

(5)学校教育と教員の在り方に関する領域

「現代社会と学校教育」「教員の職務と役割」2科目4単位必修

2. 教職専門実習

「学校臨床専門実習Ⅰ・Ⅱ」計10単位必修

3. コース必修科目

「初任期教員養成コース」指定の4科目8単位及び「学校臨床力高度化系コース共通」の2科目4単位(計6科目12単位)を必修とする。

4. コース選択科目

「初任期教員養成コース」指定の3科目6単位及び「学校臨床力高度化系コース共通」の4科目8単位から、4科目8単位以上を選択する。なお、他の系・コースに設けられた科目であっても履修することができるが、この場合、修了要件及び履修基準の単位数に含めることはできないものとする。

II. 学校臨床力高度化系 中核教員・リーダー教員養成コース

1. 共通科目(共通5領域)…各領域から以下のように必修(計8科目16単位)

(1)教育課程の編成及び実施に関する領域

「カリキュラムの開発と実践B」1科目2単位必修

(2)教科等の実践的な指導方法に関する領域

「授業デザインとICT活用A」教科指導実践演習B」2科目4単位必修

(3)生徒指導及び教育相談に関する領域

「生徒指導・教育相談の理論と実践B」1科目2単位必修

(4)学級経営及び学校経営に関する領域

「学級経営の実践と課題B」「学校づくりと学校経営B」2科目4単位必修

(5)学校教育と教員の在り方に関する領域

「現代社会と学校教育」「教員の職務と役割」2科目4単位必修

2. 教職専門実習

「学校臨床専門実習Ⅰ・Ⅱ」計10単位を必修とする。なお、教職経験6年以上の者については、その教職経験によって得られた教育実践上の課題に関するレポートを提出させ、教職専門実習を所掌する委員会及び教授会において審査を行った上で、「学校臨床専門実習Ⅰ」(3単位)を履修したとみなして、履修を免除する場合がある。

3. コース必修科目

「中核教員・リーダー教員養成コース」指定の2科目4単位及び「学校臨床力高度化系コース共通」の2科目4単位(計4科目8単位)を必修とする。

4. コース選択科目

「中核教員・リーダー教員養成コース」指定の6科目12単位及び「学校臨床力高度化系コース共通」の4科目8単位から、6科目12単位以上を選択する。なお、他の系・コースに設けられた科目であっても履修することができるが、この場合、修了要件及び履修基準の単位数に含めることはできないものとする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・実務家教員の追加配置により、「カリキュラムの開発と実践A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1准教授1」に変更。
- ・実務家教員の就任辞退により、「カリキュラムの開発と実践C」の専任教員等の配置を「教授3准教授1」から「教授3」に変更。
- ・実務家教員の就任辞退により、「授業デザインとICT活用C」の専任教員等の配置を「教授5准教授2」から「教授5准教授1」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、「教科指導実践演習A」の専任教員等の配置を「教授2准教授1兼任1」から「教授2准教授3兼任1」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、「学級経営の実践と課題C」の専任教員等の配置を「教授1准教授2」から「教授1准教授3」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、「学校づくりと学校経営C」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、「社会と学校教育・教員における現代的課題」の専任教員等の配置を「教授1准教授1兼任2」から「教授2准教授1兼任2」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、「学校臨床専門実習Ⅰ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授9准教授5講師1」から「教授11准教授8講師1」に変更。
- ・昇任、実務家教員の追加配置・就任辞退により、「教科研究専門実習Ⅰ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授19准教授14」から「教授21准教授16」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、教科研究開発高度化系の「特別支援教育の理論と実践」の専任教員等の配置を「教授2兼任1」から「教授2准教授1兼任1」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、「現代的教育課題の教材化と授業実践」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1准教授1」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、「省察実践研究Ⅰ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8准教授4講師1兼任4」から「教授10准教授5講師1兼任4」に変更。
- ・昇任により、「人間発達セミナー」の専任教員等の配置を「教授4准教授1兼任3」から「教授5兼任3」に変更。
- ・昇任により、「認知発達と学習の心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、「子育て支援の理論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1兼任1」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、「教科カリキュラム開発セミナー」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授3准教授2」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、「教科授業開発セミナー」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授3准教授1」に変更。
- ・昇任及び兼任教員の就任辞退により、「教育実践研究セミナー」の専任教員等の配置を「教授1准教授1兼任3」から「教授2兼任2」に変更。
- ・昇任により、「実践課題研究Ⅰ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授16准教授7」から「教授17准教授6」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、「授業コミュニケーション論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1講師1」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、「授業研究の理論と実践」の専任教員等の配置を「教授1准教授1」から「教授1准教授2」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、「授業力高度化演習」の専任教員等の配置を「教授2准教授1講師1兼任1」から「教授2准教授2講師1兼任1」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、「危機管理のための事例演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1准教授1」に変更。
- ・実務家教員の追加配置により、「子育て支援の実践」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1准教授1」に変更。
- ・教育効果向上のため担当教員を追加配置し、「健康・生活デザインセミナー」の専任教員等の配置を「教授1准教授1兼任8」から「教授1准教授1兼任9」に変更。
- ・兼任教員の就任辞退により、「国語科教育実践演習 -日本語学-」の専任教員等の配置を「兼任1」から「配置なし」に変更（未開講）。
- ・実務家教員の追加配置により、「発達障害の特性と基本的対応」の専任教員等の配置を「兼任3」から「准教授1兼任3」に変更。
- ・兼任教員の就任辞退により、「教科内容構成論 -国語科-」の専任教員等の配置を「兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「学校づくりと学校経営A」の専任教員等の配置を「教授1兼任1」から「兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「学校臨床とかかわり合う力B」の専任教員等の配置を「准教授1兼任1」から「兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「学校組織改善の理論と手法」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「子ども理解と臨床技法」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「カリキュラムの開発と実践C」の配当年次を「1・2後」から「1後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「授業デザインとICT活用C」の配当年次を「1・2前」から「1前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教科指導実践演習C」の配当年次を「1・2後」から「1前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「保育内容指導法演習」の配当年次を「1・2後」から「1前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「生徒指導・教育相談の理論と実践C」の配当年次を「1・2前」から「1前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「生徒指導・教育相談実践演習」の配当年次を「1・2後」から「1後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「幼児期の教育相談」の配当年次を「1・2後」から「1後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「学級経営の実践と課題A」の配当年次を「1・2後」から「2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「学級経営の実践と課題C」の配当年次を「1・2前」から「1後/前」に変更（「後/前」「前/後」の表記は、隔年で期別が変更になることを示す。以下同じ。）。
- ・時間割編成の都合により、「学校づくりと学校経営C」の配当年次を「1・2後」から「1前/後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「幼児期におけるクラスづくりと園づくり」の配当年次を「1・2後」から「1前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「社会と学校教育・教員における現代的課題」の配当年次を「1・2前」から「1後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教科研究専門実習Ⅱ」の配当年次を「2通」から「1・2通」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「特別支援教育の理論と実践」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「現代的教育課題の教材化と授業実践」の配当年次を「1・2後」から「2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「人間発達セミナー」の配当年次を「1・2前」から「1前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教科カリキュラム開発セミナー」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教育実践研究セミナー」の配当年次を「1・2前」から「1後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「授業研究の理論と実践」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「幼小接続の理論と実践」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「言語・文化セミナー」の配当年次を「1・2前」から「1前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「公共・文化セミナー」の配当年次を「1・2前」から「1前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「数理自然・技術セミナー」の配当年次を「1・2前」から「1前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「健康・生活デザインセミナー」の配当年次を「1・2前」から「1前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「芸術探究セミナー」の配当年次を「1・2前」から「1前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「社会科教育実践演習 -西洋史-」の配当年次を「1・2後」から「1・2後/前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「社会科教育実践演習 -近現代史-」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「社会科教育実践演習 -社会学-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「社会科教育実践演習 -倫理-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「数学科教育実践演習 -応用数学-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「理科教育実践演習 -科学教育-」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「理科教育実践演習 -有機化学-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「理科教育実践演習 -地質鉱物学-」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「音楽科教育実践演習 -音楽-」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「音楽科教育実践演習 -鑑賞-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「美術科教育実践演習 -工芸-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「美術科教育実践演習 -美術理論-」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「美術科教育実践演習 -書道-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「保健体育科教育実践演習 -体育学-」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「家庭科教育実践演習 -住生活-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「家庭科教育実践演習 -生活工学とICT教育-」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「英語科教育実践演習 -構文文法論-」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「英語科教育実践演習 -イギリス文学論-」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「英語科教育実践演習 -語彙指導-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「授業力熟達の実践と課題」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「学校における道德教育と道徳科」の配当年次を「1・2後」から「1・2後/前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「子どもの臨床心理学的アセスメントと支援」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「発達障害の特性と基本的対応」の配当年次を「1・2後」から「1・2後/前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教科内容構成論 -音楽科-」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教科内容構成論 -美術科-」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教科内容構成論 -保健体育科-」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教科内容構成論 -家庭科-」の配当年次を「1・2前」から「1・2後/前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教科内容教材論 -物理-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教科内容教材論 -生物-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教科内容教材論 -地学-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教科内容教材論 -音楽科-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教科内容教材論 -保健体育科-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教科内容教材論 -家庭科-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教科内容教材論 -英語科-」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「省察実践研究Ⅱ」の配当年次を「2通」から「1・2通」に変更。

【令和5年度】

- ・令和4年度に就任辞退した実務家教員の後任補充により、「カリキュラムの開発と実践C」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授3准教授1」に変更。
- ・教育効果向上のため担当教員を追加配置し、「社会と学校教育・教員における現代的課題」の専任教員等の配置を「教授2准教授1兼任2」から「教授2准教授1兼任3」に変更。
- ・令和4年度に就任辞退した実務家教員の後任補充により、「教科研究専門実習Ⅰ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授21准教授16」から「教授21准教授17」に変更。
- ・教育効果向上のため担当教員を追加配置し、「人間発達セミナー」の専任教員等の配置を「教授5兼任3」から「教授5兼任4」に変更。
- ・教育効果向上のため担当教員を追加配置し、「健康・生活デザインセミナー」の専任教員等の配置を「教授1准教授1兼任9」から「教授1准教授1兼任11」に変更。
- ・学生の多様な志向に対応するため、「国語科教育実践演習 ー古典文学ー」を新設。兼任教員を配置し、専任教員等の配置を「兼任1」とした。
- ・学生の多様な志向に対応するため、「理科教育実践演習 ー理科教育学ー」を新設。兼任教員を配置し、専任教員等の配置を「兼任1」とした。
- ・学生の多様な志向に対応するため、「理科教育実践演習 ー放射線物理学ー」を新設。兼任教員を配置し、専任教員等の配置を「兼任1」とした。
- ・学生の多様な志向に対応するため、「美術科教育実践演習 ー絵画ー」を新設。兼任教員を配置し、専任教員等の配置を「兼任1」とした。
- ・学生の多様な志向に対応するため、「美術科教育実践演習 ー美術教育史ー」を新設。兼任教員を配置し、専任教員等の配置を「兼任1」とした。
- ・学生の多様な志向に対応するため、「保健体育科教育実践演習 ー運動生理学ー」を新設。兼任教員を配置し、専任教員等の配置を「兼任1」とした。
- ・学生の多様な志向に対応するため、「技術科教育実践演習 ー機械ー」を新設。兼任教員を配置し、専任教員等の配置を「兼任1」とした。
- ・時間割編成の都合により、「家庭科教育実践演習 ー衣生活ー」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「家庭科教育実践演習 ー住生活ー」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・学生の多様な志向に対応するため、「家庭科教育実践演習 ー保育ー」を新設。兼任教員を配置し、専任教員等の配置を「兼任1」とした。
- ・教育効果向上のため担当教員を追加配置し、「教科内容構成論 ー社会科ー」の専任教員等の配置を「兼任3」から「兼任4」に変更。
- ・教育効果向上のため担当教員を追加配置し、「教科内容構成論 ー数学科ー」の専任教員等の配置を「兼任3」から「兼任4」に変更。
- ・教育効果向上のため担当教員を追加配置し、「教科内容構成論 ー美術科ー」の専任教員等の配置を「准教授1兼任4」から「准教授1兼任5」に変更。
- ・教育効果向上のため担当教員を追加配置し、「教科内容構成論 ー保健体育科ー」の専任教員等の配置を「兼任2」から「兼任3」に変更。
- ・教育効果向上のため担当教員を追加配置し、「教科内容構成論 ー技術科ー」の専任教員等の配置を「教授1兼任4」から「教授1兼任5」に変更。
- ・教育効果向上のため担当教員を追加配置し、「教科内容教材論 ー国語科ー」の専任教員等の配置を「兼任2」から「兼任3」に変更。
- ・教育効果向上のため担当教員を追加配置し、「教科内容教材論 ー社会科ー」の専任教員等の配置を「兼任4」から「兼任5」に変更。
- ・教育効果向上のため担当教員を追加配置し、「教科内容教材論 ー物理ー」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1兼任1」に変更。
- ・教育効果向上のため担当教員を追加配置し、「教科内容教材論 ー地学ー」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・教育効果向上のため担当教員を追加配置し、「教科内容教材論 ー美術科ー」の専任教員等の配置を「准教授1兼任4」から「准教授1兼任5」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「教科内容教材論 ー美術科ー」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・教育効果向上のため担当教員を追加配置し、「教科内容教材論 ー技術科ー」の専任教員等の配置を「教授1兼任4」から「教授1兼任5」に変更。

- (注) ・ 2(1)ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	139 科目	0 科目	139 科目	0 科目 [       ]	147 科目 [ 8    ]	0 科目 [       ]	147 科目 [ 8    ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	共通・実習・その他	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	国語科教育実践演習－日本語学－	2	1・2前	その他	選択	兼任教員が就任辞退したため。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「国語科教育実践演習－日本語学－」は、就任辞退した兼任教員の専門分野にかかる演習科目であり、後任未定のため未開講となっている。

学生の履修への影響については、教員の専門分野に対応した教育実践演習科目を他にも多数提供し学生の多様な志向に対応できるようにしていることから支障は生じない。また、令和5年度においては、兼任教員を追加配置して当該教育実践演習をさらに8科目新設し、その中には「国語科教育実践演習－古典文学－」を設置している。

学生に対してはオリエンテーション時及び学内掲示等により周知を行っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。



(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{139} = \boxed{0.71} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	102,778㎡	0㎡	0㎡	102,778㎡			
	運動場用地	37,946㎡	0㎡	0㎡	37,946㎡			
	小 計	140,724㎡	0㎡	0㎡	140,724㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	合 計	140,724㎡	0㎡	0㎡	140,724㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	( 40,498㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 40,498㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	43室	71室	65室	3室 (補助職員 1人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			令和4年4月に専任教員新規採用のため(4)		
	連合教職実践研究科		41 46 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数
	連合教職実践研究科	454,392 [73,187] (460,944 [73,583]) (467,449 [73,918])	11,367 [5,832] (11,385 [5,812]) (14,870 [9,275])	4,597 [4,597] (4,578 [4,578]) (8,030 [8,027])	3,546 (3,683) (3,501)	7,359 (7,563) (7,593)	0 ( 0 )	
	計	454,392 [73,187] (460,944 [73,583]) (467,449 [73,918])	11,367 [5,832] (11,385 [5,812]) (14,870 [9,275])	4,597 [4,597] (4,578 [4,578]) (8,030 [8,027])	3,546 (3,683) (3,501)	7,359 (7,563) (7,593)	0 ( 0 )	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	4,482㎡		285		402,000			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体
	1,417㎡		野 球 場 1 面 テ ニ ス コ ー ト 5 面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	千円
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	京都教育大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
教育学部											昭和24							
学校教育教員養成課程	4	300	0	1,200	学士(教育学)	1.08	-	1.10	-	-		京都府京都市伏見区深草藤森町1番地						
大学全体																		

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。  
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<連合教職実践研究科 教職実践専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授(学校臨床力高度化系主任)	竺沙 知章 (59) <令和4年4月> 博士(教育学)	現代社会と学校教育 教員の職務と役割 学校・教員の裁量権と法的責任 学校づくりとリーダーシップ 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	片山 紀子 (59) <令和4年4月> 博士(文学)	生徒指導・教育相談の理論と実践A 学級経営の実践と課題A 学級経営の実践と課題B 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	河野 和清 (71) <令和4年4月> 博士(教育学)	学校づくりと学校経営B 現代の公教育と人間形成の課題 教育政策と教育行政・学校経営の課題 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	児玉 祥一 (65) <令和4年4月> 教育学修士	カリキュラムの開発と実践B 授業力高度化演習 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	谷川 至孝 (66) <令和4年4月> 博士(教育学)	カリキュラムの開発と実践A カリキュラムマネジメント 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	船田 智史 (56) <令和4年4月> 博士(理学)	教科指導実践演習A 授業研究の理論と実践 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授(教科研究開発高度化系主任)	徳岡 慶一 (62) <令和4年4月> 教育学修士※	授業デザインとICT活用C ※ 授業力熟達の理論と課題 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	榊原 禎宏 (59) <令和4年4月> 学術修士※	学級経営の実践と課題C 学校づくりと学校経営C 人間発達セミナー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	相澤 伸幸 (52) <令和4年4月> 博士(教育学)	学校における道徳教育と道徳科 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授(学校臨床力高度化系主任)	竺沙 知章 (60) <令和4年4月> 博士(教育学)	現代社会と学校教育 教員の職務と役割 学校・教員の裁量権と法的責任 学校づくりとリーダーシップ 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	片山 紀子 (60) <令和4年4月> 博士(文学)	生徒指導・教育相談の理論と実践A 現代の公教育と人間形成の課題 学級経営の実践と課題A 学級経営の実践と課題B 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	河野 和清 (72) <令和4年4月> 博士(教育学)	学校づくりと学校経営B 現代の公教育と人間形成の課題 教育政策と教育行政・学校経営の課題 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	児玉 祥一 (66) <令和4年4月> 教育学修士	カリキュラムの開発と実践B 授業力高度化演習 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	谷川 至孝 (67) <令和4年4月> 博士(教育学)	カリキュラムの開発と実践A カリキュラムマネジメント 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	船田 智史 (57) <令和4年4月> 博士(理学)	教科指導実践演習A 授業研究の理論と実践 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授(教科研究開発高度化系主任)	徳岡 慶一 (63) <令和4年4月> 教育学修士※	授業デザインとICT活用C ※ 授業力熟達の理論と課題 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	榊原 禎宏 (60) <令和4年4月> 学術修士※	学級経営の実践と課題C 学校づくりと学校経営C 人間発達セミナー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	相澤 伸幸 (53) <令和4年4月> 博士(教育学)	学校における道徳教育と道徳科 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授(学校臨床力高度化系主任)	竺沙 知章 (61) <令和4年4月> 博士(教育学)	現代社会と学校教育 教員の職務と役割 学校・教員の裁量権と法的責任 学校づくりとリーダーシップ 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	片山 紀子 (61) <令和4年4月> 博士(文学)	生徒指導・教育相談の理論と実践A 学級経営の実践と課題A 学級経営の実践と課題B 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	河野 和清 (73) <令和4年4月> 博士(教育学)	学校づくりと学校経営B 現代の公教育と人間形成の課題 教育政策と教育行政・学校経営の課題 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	児玉 祥一 (67) <令和4年4月> 教育学修士	カリキュラムの開発と実践B 授業力高度化演習 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	谷川 至孝 (68) <令和4年4月> 博士(教育学)	カリキュラムの開発と実践A カリキュラムマネジメント 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	船田 智史 (58) <令和4年4月> 博士(理学)	教科指導実践演習A 授業研究の理論と実践 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授(教科研究開発高度化系主任)	徳岡 慶一 (64) <令和4年4月> 教育学修士※	授業デザインとICT活用C ※ 授業力熟達の理論と課題 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	榊原 禎宏 (61) <令和4年4月> 学術修士※	学級経営の実践と課題C 学校づくりと学校経営C 人間発達セミナー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	相澤 伸幸 (54) <令和4年4月> 博士(教育学)	学校における道徳教育と道徳科 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	佐藤 克敏 (56) <令和4年4月> 修士(教育学)	特別支援教育の理論と実践 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	平井 恭子 (57) <令和4年4月> 修士(教育学)	保育内容指導法演習 ※ 人間発達セミナー ※ 子育て支援の実践 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	古賀(藤本) 松香 (49) <令和4年4月> 博士(子ども学)	カリキュラムの開発と実践C ※ 授業デザインとICT活用C ※ 幼児期におけるクラスづくりと園づくり 人間発達セミナー ※ 幼小接続の理論と実践 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	平石 隆敏 (61) <令和4年4月> 文学修士※	教育実践研究セミナー ※ 公共・文化セミナー 社会科教育実践演習 ー倫理ー 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	植山 俊宏 (63) <令和4年4月> 教育学修士※	教科カリキュラム開発セミナー ※ 教科授業開発セミナー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	西本 有造 (59) <令和4年4月> 修士(学校教育学)	言語・文化セミナー ※ 教科内容構成論 ー英語科ー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	黒田 恭史 (57) <令和4年4月> 博士(人間科学)	授業デザインとICT活用C ※ 教科カリキュラム開発セミナー ※ 数理自然・技術セミナー 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	谷口 和成 (50) <令和4年4月> 博士(理学)	授業デザインとICT活用C ※ 数理自然・技術セミナー 教科内容教材論 ー物理ー 理科教育実践演習 ー科学教育ー 教科内容構成論 ー理科ー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	原田 信一 (61) <令和4年4月> 博士(教育学)	教科授業開発セミナー ※ 数理自然・技術セミナー 教科内容構成論 ー技術科ー ※ 教科内容教材論 ー技術科ー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	佐藤 克敏 (57) <令和4年4月> 修士(教育学)	特別支援教育の理論と実践 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	平井 恭子 (58) <令和4年4月> 修士(教育学)	保育内容指導法演習 ※ 人間発達セミナー ※ 子育て支援の実践 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	古賀(藤本) 松香 (50) <令和4年4月> 博士(子ども学)	カリキュラムの開発と実践C ※ 授業デザインとICT活用C ※ 幼児期におけるクラスづくりと園づくり 人間発達セミナー ※ 幼小接続の理論と実践 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	平石 隆敏 (62) <令和4年4月> 文学修士※	教育実践研究セミナー ※ 公共・文化セミナー 社会科教育実践演習 ー倫理ー 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	植山 俊宏 (64) <令和4年4月> 教育学修士※	教科カリキュラム開発セミナー ※ 教科授業開発セミナー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	西本 有造 (60) <令和4年4月> 修士(学校教育学)	言語・文化セミナー ※ 教科内容構成論 ー英語科ー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	黒田 恭史 (58) <令和4年4月> 博士(人間科学)	授業デザインとICT活用C ※ 教科カリキュラム開発セミナー ※ 数理自然・技術セミナー 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	谷口 和成 (51) <令和4年4月> 博士(理学)	授業デザインとICT活用C ※ 数理自然・技術セミナー 教科内容教材論 ー物理ー 理科教育実践演習 ー科学教育ー 教科内容構成論 ー理科ー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	原田 信一 (62) <令和4年4月> 博士(教育学)	教科授業開発セミナー ※ 数理自然・技術セミナー 教科内容構成論 ー技術科ー ※ 教科内容教材論 ー技術科ー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	佐藤 克敏 (58) <令和4年4月> 修士(教育学)	特別支援教育の理論と実践 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	平井 恭子 (59) <令和4年4月> 修士(教育学)	保育内容指導法演習 ※ 人間発達セミナー ※ 子育て支援の実践 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	古賀(藤本) 松香 (51) <令和4年4月> 博士(子ども学)	カリキュラムの開発と実践C ※ 授業デザインとICT活用C ※ 幼児期におけるクラスづくりと園づくり 人間発達セミナー ※ 幼小接続の理論と実践 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	平石 隆敏 (63) <令和4年4月> 文学修士※	教育実践研究セミナー ※ 公共・文化セミナー 社会科教育実践演習 ー倫理ー 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	植山 俊宏 (65) <令和4年4月> 教育学修士※	教科カリキュラム開発セミナー ※ 教科授業開発セミナー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	西本 有造 (61) <令和4年4月> 修士(学校教育学)	言語・文化セミナー ※ 教科内容構成論 ー英語科ー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	黒田 恭史 (59) <令和4年4月> 博士(人間科学)	授業デザインとICT活用C ※ 教科カリキュラム開発セミナー ※ 数理自然・技術セミナー 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	谷口 和成 (52) <令和4年4月> 博士(理学)	授業デザインとICT活用C ※ 数理自然・技術セミナー 教科内容教材論 ー物理ー 理科教育実践演習 ー科学教育ー 教科内容構成論 ー理科ー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	原田 信一 (63) <令和4年4月> 博士(教育学)	教科授業開発セミナー ※ 数理自然・技術セミナー 教科内容構成論 ー技術科ー ※ 教科内容教材論 ー技術科ー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井上 えり子 (57) <令和4年4月> 博士(学術) 健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容構成論 一家庭科一 ※ 教科内容教材論 一家庭科一 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	清村 百合子 (47) <令和4年4月> 博士(学校教育学) 教科カリキュラム開発セミナー ※ 教科授業開発セミナー ※ 教科内容教材論 一音楽科一 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	樋口 とみ子 (45) <令和4年4月> 博士(教育学) カリキュラムの開発と実践C ※ 人間発達セミナー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	相澤 雅文 (61) <令和4年4月> 博士(教育学) 特別支援教育の理論と実践 ※ 生徒指導・教育相談の理論と実践C ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	徳永 俊太 (42) <令和4年4月> 博士(教育学) 教科指導実践演習A 現代社会と学校教育 現代的教育課題の教材化と授業実践 授業研究の理論と実践 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	准教授	安達 知郎 (43) <令和4年4月> 博士(教育学) 現代社会と学校教育 学校における心理教育 学校におけるグループダイナミクス演習Ⅰ 学校におけるグループダイナミクス演習Ⅱ 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	准教授	網谷(川上) 綾香 (47) <令和4年4月> 博士(心理学) 生徒指導・教育相談の理論と実践B 危機管理のための事例演習 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	准教授	田爪 宏二 (51) <令和4年4月> 博士(心理学) 教育実践研究セミナー ※ 人間発達セミナー ※ 認知発達と学習の心理学 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	西村 佐彩子 (46) <令和4年4月> 博士(心理学) 生徒指導・教育相談の理論と実践C ※ 生徒指導・教育相談実践演習 子どもの臨床心理学的アセスメントと支援 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	寺田 守 (46) <令和4年4月> 博士(教育学) 教科指導実践演習C 言語・文化セミナー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井上 えり子 (57) <令和4年4月> 博士(学術) 健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容構成論 一家庭科一 ※ 教科内容教材論 一家庭科一 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	清村 百合子 (47) <令和4年4月> 博士(学校教育学) 教科カリキュラム開発セミナー ※ 教科授業開発セミナー ※ 教科内容教材論 一音楽科一 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	樋口 とみ子 (45) <令和4年4月> 博士(教育学) カリキュラムの開発と実践C ※ 人間発達セミナー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	相澤 雅文 (61) <令和4年4月> 博士(教育学) 特別支援教育の理論と実践 ※ 生徒指導・教育相談の理論と実践C ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	徳永 俊太 (42) <令和4年4月> 博士(教育学) 教科指導実践演習A 現代社会と学校教育 現代的教育課題の教材化と授業実践 授業研究の理論と実践 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	准教授	安達 知郎 (43) <令和4年4月> 博士(教育学) 現代社会と学校教育 学校における心理教育 学校におけるグループダイナミクス演習Ⅰ 学校におけるグループダイナミクス演習Ⅱ 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	准教授	網谷(川上) 綾香 (47) <令和4年4月> 博士(心理学) 生徒指導・教育相談の理論と実践B 危機管理のための事例演習 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	田爪 宏二 (51) <令和4年4月> 博士(心理学) 教育実践研究セミナー ※ 人間発達セミナー ※ 認知発達と学習の心理学 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	西村 佐彩子 (46) <令和4年4月> 博士(心理学) 生徒指導・教育相談の理論と実践C ※ 生徒指導・教育相談実践演習 子どもの臨床心理学的アセスメントと支援 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	寺田 守 (46) <令和4年4月> 博士(教育学) 教科指導実践演習C 言語・文化セミナー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井上 えり子 (57) <令和4年4月> 博士(学術) 健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容構成論 一家庭科一 ※ 教科内容教材論 一家庭科一 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	清村 百合子 (47) <令和4年4月> 博士(学校教育学) 教科カリキュラム開発セミナー ※ 教科授業開発セミナー ※ 教科内容教材論 一音楽科一 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	樋口 とみ子 (45) <令和4年4月> 博士(教育学) カリキュラムの開発と実践C ※ 人間発達セミナー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	教授	相澤 雅文 (61) <令和4年4月> 博士(教育学) 特別支援教育の理論と実践 ※ 生徒指導・教育相談の理論と実践C ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	徳永 俊太 (42) <令和4年4月> 博士(教育学) 教科指導実践演習A 現代社会と学校教育 現代的教育課題の教材化と授業実践 授業研究の理論と実践 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	准教授	安達 知郎 (43) <令和4年4月> 博士(教育学) 現代社会と学校教育 学校における心理教育 学校におけるグループダイナミクス演習Ⅰ 学校におけるグループダイナミクス演習Ⅱ 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	准教授	網谷(川上) 綾香 (47) <令和4年4月> 博士(心理学) 生徒指導・教育相談の理論と実践B 危機管理のための事例演習 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
専	教授	田爪 宏二 (51) <令和4年4月> 博士(心理学) 教育実践研究セミナー ※ 人間発達セミナー ※ 認知発達と学習の心理学 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	西村 佐彩子 (46) <令和4年4月> 博士(心理学) 生徒指導・教育相談の理論と実践C ※ 生徒指導・教育相談実践演習 子どもの臨床心理学的アセスメントと支援 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	寺田 守 (46) <令和4年4月> 博士(教育学) 教科指導実践演習C 言語・文化セミナー ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小山 宏之 (42) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容教材論 -保健体育科- ※ 保健体育科教育実践演習 -バイオメカニクス- 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	榎下 達也 (40) <令和4年4月> 修士(教育学) ※
		芸術探究セミナー 教科内容構成論 -音楽科- ※ 音楽科教育実践演習 -授業実践史- 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	山内 朋樹 (43) <令和4年4月> 修士(人間・環境学) ※
		芸術探究セミナー 教科内容構成論 -美術科- ※ 教科内容教材論 -美術科- ※ 美術科教育実践演習 -美学・美術理論- 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	中村 翼 (37) <令和4年4月> 博士(文学)
		公共・文化セミナー 社会科教育実践演習 -日本史- 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	講師	福岡 祐貴 (31) <令和4年4月> 博士(教育学)
		授業デザインとICT活用A ※ 授業力高度化演習 授業コミュニケーション論 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
実専	教授	佐古 清 (62) <令和4年4月> 文学士
		教科指導実践演習A 教員の職務と役割 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
実専	教授	佐伯 卓也 (60) <令和4年4月> 教育学士
		授業力高度化演習 カリキュラムマネジメント 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
実専	教授	中垣 ますみ (63) <令和4年4月> 修士(教育学)
		学校づくりと学校経営C 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実専	教授	市田 克利 (58) <令和4年4月> 教育学士
		カリキュラムの開発と実践C ※ 教科指導実践演習C 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実専	教授	佐藤 卓也 (62) <令和4年4月> 教育学士
		授業デザインとICT活用C ※ 生徒指導・教育相談の理論と実践C ※ 社会と学校教育・教員における現代的課題 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実専	准教授	新谷 幸三 (54) <令和4年4月> 教育学士
		授業力高度化演習 生徒指導・教育相談の理論と実践B 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小山 宏之 (43) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容教材論 -保健体育科- ※ 保健体育科教育実践演習 -バイオメカニクス- 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	榎下 達也 (41) <令和4年4月> 修士(教育学) ※
		芸術探究セミナー 教科内容構成論 -音楽科- ※ 音楽科教育実践演習 -授業実践史- 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	山内 朋樹 (44) <令和4年4月> 修士(人間・環境学) ※
		芸術探究セミナー 教科内容構成論 -美術科- ※ 教科内容教材論 -美術科- ※ 美術科教育実践演習 -美学・美術理論- 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	中村 翼 (38) <令和4年4月> 博士(文学)
		公共・文化セミナー 社会科教育実践演習 -日本史- 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	講師	福岡 祐貴 (32) <令和4年4月> 博士(教育学)
		授業デザインとICT活用A ※ 授業力高度化演習 授業コミュニケーション論 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
実専	教授	佐古 清 (63) <令和4年4月> 文学士
		教科指導実践演習A 教員の職務と役割 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
実専	教授	佐伯 卓也 (61) <令和4年4月> 教育学士
		授業力高度化演習 カリキュラムマネジメント 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
実専	教授	中垣 ますみ (64) <令和4年4月> 修士(教育学)
		学校づくりと学校経営C 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実専	教授	市田 克利 (59) <令和4年4月> 教育学士
		カリキュラムの開発と実践C ※ 教科指導実践演習C 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実専	教授	佐藤 卓也 (63) <令和4年4月> 教育学士
		授業デザインとICT活用C ※ 生徒指導・教育相談の理論と実践C ※ 社会と学校教育・教員における現代的課題 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実専	准教授	新谷 幸三 (55) <令和4年4月> 教育学士
		授業力高度化演習 生徒指導・教育相談の理論と実践B 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小山 宏之 (44) <令和4年4月> 博士(体育科学)
		健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容教材論 -保健体育科- ※ 保健体育科教育実践演習 -バイオメカニクス- 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	榎下 達也 (42) <令和4年4月> 修士(教育学) ※
		芸術探究セミナー 教科内容構成論 -音楽科- ※ 音楽科教育実践演習 -授業実践史- 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	山内 朋樹 (45) <令和4年4月> 修士(人間・環境学) ※
		芸術探究セミナー 教科内容構成論 -美術科- ※ 教科内容教材論 -美術科- ※ 美術科教育実践演習 -美学・美術理論- 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	准教授	中村 翼 (39) <令和4年4月> 博士(文学)
		公共・文化セミナー 社会科教育実践演習 -日本史- 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ 実践課題研究Ⅰ 実践課題研究Ⅱ
専	講師	福岡 祐貴 (33) <令和4年4月> 博士(教育学)
		授業デザインとICT活用A ※ 授業力高度化演習 授業コミュニケーション論 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
実専	教授	佐古 清 (64) <令和4年4月> 文学士
		教科指導実践演習A 教員の職務と役割 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
実専	教授	佐伯 卓也 (62) <令和4年4月> 教育学士
		授業力高度化演習 カリキュラムマネジメント 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
実専	教授	中垣 ますみ (65) <令和4年4月> 修士(教育学)
		学校づくりと学校経営C 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実専	教授	市田 克利 (60) <令和4年4月> 教育学士
		カリキュラムの開発と実践C ※ 教科指導実践演習C 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実専	教授	佐藤 卓也 (64) <令和4年4月> 教育学士
		授業デザインとICT活用C ※ 生徒指導・教育相談の理論と実践C ※ 社会と学校教育・教員における現代的課題 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実専	准教授	吉田 秀紀 (51) <令和5年4月> 学士(教育学)
		授業力高度化演習 生徒指導・教育相談の理論と実践B 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実み	教授	上山 義宏 (62) <令和4年4月> 教職修士(専門職) 学校づくりと学校経営A 学校づくりと学校経営B 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ
実み	准教授	永尾 彰子 (46) <令和4年4月> 修士(教育学) 学校臨床とかかわり合う力A 学校臨床とかかわり合う力B 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ
実み	准教授	高野 史朗 (40) <令和4年4月> 修士(教育学) 保育内容指導法演習 ※ 幼児期におけるクラスづくりと園づくり 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	樋口 万太郎 (39) <令和4年4月> 教職修士(専門職) カリキュラムの開発と実践C ※ 授業デザインとICT活用C ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	秋山 雅文 (52) <令和4年4月> 学士(経済学) 生徒指導・教育相談の理論と実践C ※ 学級経営の実践と課題C 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	藤田 智之 (46) <令和4年4月> 修士(教育学) 教科指導実践演習C 学級経営の実践と課題C 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	野ヶ山 康弘 (51) <令和4年4月> 修士(教育学) 教科指導実践演習C 生徒指導・教育相談実践演習 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	岡本 幹 (58) <令和4年4月> 修士(学校教育学) 授業デザインとICT活用C ※ 社会と学校教育・教員における現代的課題 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	北岡 淳子 (59) <令和4年4月> 芸術学士 生徒指導・教育相談実践演習 幼児期の教育相談 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実専	教授	吉川 孝 (61) <令和4年4月> 文学士 現代的教育課題の教材化と授業実践 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
実専	教授	山下 和典 (61) <令和4年4月> 教育学士 危機管理のための事例演習 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
実専	教授	小長谷 直樹 (61) <令和4年4月> 教育学士 学校づくりと学校経営C 社会と学校教育・教員における現代的課題 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実専	准教授	中下 和之 (48) <令和4年4月> 教育学士 教科指導実践演習A 授業研究の理論と実践 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
実み	教授	上山 義宏 (63) <令和4年4月> 教職修士(専門職) 学校組織改善の理論と手法 学校づくりと学校経営B 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ
実み	准教授	永尾 彰子 (47) <令和4年4月> 修士(教育学) 学校臨床とかかわり合う力A 子ども理解と臨床技法 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ
実み	准教授	高野 史朗 (41) <令和4年4月> 修士(教育学) 保育内容指導法演習 ※ 幼児期におけるクラスづくりと園づくり 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	秋山 雅文 (53) <令和4年4月> 学士(経済学) 生徒指導・教育相談の理論と実践C ※ 学級経営の実践と課題C 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	藤田 智之 (47) <令和4年4月> 修士(教育学) 教科指導実践演習C 学級経営の実践と課題C 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	野ヶ山 康弘 (52) <令和4年4月> 修士(教育学) 教科指導実践演習C 生徒指導・教育相談実践演習 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	岡本 幹 (59) <令和4年4月> 修士(学校教育学) 授業デザインとICT活用C ※ 社会と学校教育・教員における現代的課題 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	北岡 淳子 (60) <令和4年4月> 芸術学士 生徒指導・教育相談実践演習 幼児期の教育相談 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実専	教授	吉川 孝 (62) <令和4年4月> 文学士 現代的教育課題の教材化と授業実践 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
実専	教授	山下 和典 (62) <令和4年4月> 教育学士 危機管理のための事例演習 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
実専	教授	小長谷 直樹 (62) <令和4年4月> 教育学士 学校づくりと学校経営C 社会と学校教育・教員における現代的課題 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実専	准教授	中下 和之 (49) <令和4年4月> 教育学士 教科指導実践演習A 授業研究の理論と実践 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
実み	教授	上山 義宏 (64) <令和4年4月> 教職修士(専門職) 学校組織改善の理論と手法 学校づくりと学校経営B 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ
実み	准教授	新田 浩 (49) <令和5年4月> 修士(教育学) 学校臨床とかかわり合う力A 子ども理解と臨床技法 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ
実み	准教授	高野 史朗 (42) <令和4年4月> 修士(教育学) 保育内容指導法演習 ※ 幼児期におけるクラスづくりと園づくり 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	若松 俊介 (37) <令和5年4月> 教職修士(専門職) カリキュラムの開発と実践C ※ 学級経営の実践と課題C ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	秋山 雅文 (54) <令和4年4月> 学士(経済学) 生徒指導・教育相談の理論と実践C ※ 学級経営の実践と課題C 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	高田 陽子 (54) <令和5年4月> 学士(教育学) 教科指導実践演習C 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	野ヶ山 康弘 (53) <令和4年4月> 修士(教育学) 教科指導実践演習C 生徒指導・教育相談実践演習 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	吉田 耕平 (45) <令和5年4月> 博士(理学) 授業デザインとICT活用C ※ 社会と学校教育・教員における現代的課題 ※ 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	木村 進哉 (42) <令和5年4月> 学士(教育学) 生徒指導・教育相談実践演習 幼児期の教育相談 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		声田 有一 (56) <令和4年4月> 教育学士 教科指導実践演習A 授業コミュニケーション論 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ
		河村 健太 (39) <令和4年4月> 教職修士(専門職) カリキュラムの開発と実践A 授業力高度化演習 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ
		千種 朋子 (50) <令和4年4月> 学士(哲学) 発達障害の特性と基本的対応 特別支援教育の理論と実践 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
		社村 重子 (58) <令和4年4月> 修士(教育学) 学級経営の実践と課題C 教科カリキュラム開発セミナー 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
		柳生 和代 (56) <令和4年4月> 教育学士 子育て支援の理論 子育て支援の実践 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
		湯浅 康次 (54) <令和4年4月> 準学士 教科授業開発セミナー 教科カリキュラム開発セミナー 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
兼任	教授	小谷 裕実 (59) <令和4年4月> 博士(医学) 人間発達セミナー ※ 発達障害の特性と基本的対応 ※
兼任	教授	濱田(宮治) 麻里 (58) <令和4年4月> 文学修士 社会と学校教育・教員における現代的課題 ※ 教科内容構成論 -国語科- ※ 国語科教育実践演習 -日本語教育学-
兼任	教授	天野(日比) 知幸 (49) <令和4年4月> 博士(文学) 教科内容教材論 -国語科- ※ 国語科教育実践演習 -近現代文学-
兼任	教授	谷口 匡 (59) <令和4年4月> 文学修士 教科内容教材論 -国語科- ※ 国語科教育実践演習 -漢文学-
兼任	教授	児玉 一宏 (57) <令和4年4月> 博士(人間・環境学) 教科内容構成論 -英語科- ※ 英語科教育実践演習 -構文文法論-
兼任	教授	香川 貴志 (61) <令和4年4月> 文学修士 ※ 社会科教育実践演習 -地理- 教科内容教材論 -社会科- ※
兼任	教授	荻野 雄 (55) <令和4年4月> 修士(法学) 社会科教育実践演習 -政治- 教科内容教材論 -社会科- ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実み	准教授	声田 有一 (56) <令和4年4月> 教育学士 教科指導実践演習A 授業コミュニケーション論 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ
実み	准教授	河村 健太 (39) <令和4年4月> 教職修士(専門職) カリキュラムの開発と実践A 授業力高度化演習 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ
実み	准教授	千種 朋子 (50) <令和4年4月> 学士(哲学) 発達障害の特性と基本的対応 特別支援教育の理論と実践 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	社村 重子 (58) <令和4年4月> 修士(教育学) 学級経営の実践と課題C 教科カリキュラム開発セミナー 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	柳生 和代 (56) <令和4年4月> 教育学士 子育て支援の理論 子育て支援の実践 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	湯浅 康次 (54) <令和4年4月> 準学士 教科授業開発セミナー 教科カリキュラム開発セミナー 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
兼任	教授	小谷 裕実 (60) <令和4年4月> 博士(医学) 人間発達セミナー ※ 発達障害の特性と基本的対応 ※
兼任	教授	濱田(宮治) 麻里 (59) <令和4年4月> 文学修士 社会と学校教育・教員における現代的課題 ※ 教科内容構成論 -国語科- ※ 国語科教育実践演習 -日本語教育学-
兼任	教授	天野(日比) 知幸 (50) <令和4年4月> 博士(文学) 教科内容教材論 -国語科- ※ 国語科教育実践演習 -近現代文学-
兼任	教授	谷口 匡 (60) <令和4年4月> 文学修士 教科内容教材論 -国語科- ※ 国語科教育実践演習 -漢文学-
兼任	教授	児玉 一宏 (58) <令和4年4月> 博士(人間・環境学) 教科内容構成論 -英語科- ※ 英語科教育実践演習 -構文文法論-
兼任	教授	香川 貴志 (62) <令和4年4月> 文学修士 ※ 社会科教育実践演習 -地理- 教科内容教材論 -社会科- ※
兼任	教授	荻野 雄 (56) <令和4年4月> 修士(法学) 社会科教育実践演習 -政治- 教科内容教材論 -社会科- ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実み	准教授	声田 有一 (57) <令和4年4月> 教育学士 教科指導実践演習A 授業コミュニケーション論 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ
実み	准教授	河村 健太 (40) <令和4年4月> 教職修士(専門職) カリキュラムの開発と実践A 授業力高度化演習 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ
実み	准教授	千種 朋子 (51) <令和4年4月> 学士(哲学) 発達障害の特性と基本的対応 特別支援教育の理論と実践 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	植田 博樹 (44) <令和5年4月> 教職修士(専門職) 学級経営の実践と課題C 教科カリキュラム開発セミナー 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	奥 景子 (60) <令和5年4月> 教育学士 子育て支援の理論 子育て支援の実践 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
実み	准教授	田邊 美野利 (63) <令和5年4月> 理学士 教科授業開発セミナー 教科カリキュラム開発セミナー 教科研究専門実習Ⅰ 教科研究専門実習Ⅱ
兼任	教授	小谷 裕実 (61) <令和4年4月> 博士(医学) 人間発達セミナー ※ 発達障害の特性と基本的対応 ※
兼任	教授	濱田(宮治) 麻里 (60) <令和4年4月> 文学修士 社会と学校教育・教員における現代的課題 ※ 教科内容構成論 -国語科- ※ 国語科教育実践演習 -日本語教育学-
兼任	教授	天野(日比) 知幸 (51) <令和4年4月> 博士(文学) 教科内容教材論 -国語科- ※ 国語科教育実践演習 -近現代文学-
兼任	教授	谷口 匡 (61) <令和4年4月> 文学修士 教科内容教材論 -国語科- ※ 国語科教育実践演習 -漢文学-
兼任	教授	児玉 一宏 (59) <令和4年4月> 博士(人間・環境学) 教科内容構成論 -英語科- ※ 英語科教育実践演習 -構文文法論-
兼任	教授	香川 貴志 (63) <令和4年4月> 文学修士 ※ 社会科教育実践演習 -地理- 教科内容教材論 -社会科- ※
兼任	教授	荻野 雄 (57) <令和4年4月> 修士(法学) 社会科教育実践演習 -政治- 教科内容教材論 -社会科- ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	石川 誠 (60) <令和4年4月> 博士(国際公共政策)
		社会科学教育実践演習 - 経済 - 教科内容教材論 - 社会学 - ※
兼任	教授	土屋 雄一郎 (53) <令和4年4月> 博士(社会学)
		教育実践研究セミナー ※ 教科内容構成論 - 社会学 - ※ 社会科学教育実践演習 - 社会学 -
兼任	教授	深尾 武史 (46) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容構成論 - 数学科 - ※ 教科内容教材論 - 数学科 -
兼任	教授	向井 浩 (59) <令和4年4月> 理学博士
		教科内容教材論 - 化学 - ※ 理科教育実践演習 - 分析化学 -
兼任	教授	梶原 裕二 (63) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容教材論 - 生物 - 理科教育実践演習 - 動物分類形態学 - 教科内容構成論 - 理科 - ※
兼任	教授	田中 里志 (57) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容教材論 - 地学 - 理科教育実践演習 - 地質鉱物学 - 教科内容構成論 - 理科 - ※
兼任	教授	多田 知正 (51) <令和4年4月> 博士(工学)
		教科内容構成論 - 技術科 - ※ 教科内容教材論 - 技術科 - ※ 技術科教育実践演習 - 情報ネットワーク -
兼任	教授	南山 泰宏 (51) <令和4年4月> 博士(農学)
		教科内容構成論 - 技術科 - ※ 教科内容教材論 - 技術科 - ※ 技術科教育実践演習 - 生物育成 -
兼任	教授	森 孝宏 (65) <令和4年4月> 医学士
		子どもの臨床心理学的アセスメントと支援 ※ 保健体育科教育実践演習 - 学校保健 -
兼任	教授	湯川 夏子 (56) <令和4年4月> 博士(学術)
		健康・生活デザインセミナー ※ 家庭科教育実践演習 - 食生活 - 教科内容構成論 - 家庭科 - ※
兼任	教授	延原 理恵 (53) <令和4年4月> 博士(学術)
		健康・生活デザインセミナー ※ 家庭科教育実践演習 - 住生活 - 教科内容教材論 - 家庭科 - ※
兼任	教授	田中 多佳子 (63) <令和4年4月> 博士(音楽学)
		教科内容構成論 - 音楽科 - ※ 教科内容教材論 - 音楽科 - ※
兼任	教授	山口 博明 (48) <令和4年4月> 修士(音楽)
		教科内容構成論 - 音楽科 - ※ 教科内容教材論 - 音楽科 - ※ 音楽科教育実践演習 - 器楽 -

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	石川 誠 (61) <令和4年4月> 博士(国際公共政策)
		社会科学教育実践演習 - 経済 - 教科内容教材論 - 社会学 - ※
兼任	教授	土屋 雄一郎 (54) <令和4年4月> 博士(社会学)
		教育実践研究セミナー ※ 教科内容構成論 - 社会学 - ※ 社会科学教育実践演習 - 社会学 -
兼任	教授	深尾 武史 (47) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容構成論 - 数学科 - ※ 教科内容教材論 - 数学科 -
兼任	教授	向井 浩 (60) <令和4年4月> 理学博士
		教科内容教材論 - 化学 - ※ 理科教育実践演習 - 分析化学 -
兼任	教授	梶原 裕二 (64) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容教材論 - 生物 - 理科教育実践演習 - 動物分類形態学 - 教科内容構成論 - 理科 - ※
兼任	教授	田中 里志 (58) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容教材論 - 地学 - 理科教育実践演習 - 地質鉱物学 - 教科内容構成論 - 理科 - ※
兼任	教授	多田 知正 (52) <令和4年4月> 博士(工学)
		教科内容構成論 - 技術科 - ※ 教科内容教材論 - 技術科 - ※ 技術科教育実践演習 - 情報ネットワーク -
兼任	教授	南山 泰宏 (52) <令和4年4月> 博士(農学)
		教科内容構成論 - 技術科 - ※ 教科内容教材論 - 技術科 - ※ 技術科教育実践演習 - 生物育成 -
兼任	教授	森 孝宏 (64) <令和4年4月> 医学士
		子どもの臨床心理学的アセスメントと支援 ※ 保健体育科教育実践演習 - 学校保健 - <b>健康・生活デザインセミナー ※</b>
兼任	教授	湯川 夏子 (57) <令和4年4月> 博士(学術)
		健康・生活デザインセミナー ※ 家庭科教育実践演習 - 食生活 - 教科内容構成論 - 家庭科 - ※
兼任	教授	延原 理恵 (54) <令和4年4月> 博士(学術)
		健康・生活デザインセミナー ※ 家庭科教育実践演習 - 住生活 - 教科内容教材論 - 家庭科 - ※
兼任	教授	田中 多佳子 (64) <令和4年4月> 博士(音楽学)
		教科内容構成論 - 音楽科 - ※ 教科内容教材論 - 音楽科 - ※
兼任	教授	山口 博明 (49) <令和4年4月> 修士(音楽)
		教科内容構成論 - 音楽科 - ※ 教科内容教材論 - 音楽科 - ※ 音楽科教育実践演習 - 器楽 -

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	石川 誠 (62) <令和4年4月> 博士(国際公共政策)
		社会科学教育実践演習 - 経済 - 教科内容教材論 - 社会学 - ※
兼任	教授	土屋 雄一郎 (55) <令和4年4月> 博士(社会学)
		教育実践研究セミナー ※ 教科内容構成論 - 社会学 - ※ 社会科学教育実践演習 - 社会学 -
兼任	教授	熊崎 剛太 (40) <b>&lt;令和5年4月&gt;</b> <b>博士(学術)</b>
		教科内容構成論 - 数学科 - ※ 教科内容教材論 - 数学科 -
兼任	教授	向井 浩 (61) <令和4年4月> 理学博士
		教科内容教材論 - 化学 - ※ 理科教育実践演習 - 分析化学 -
兼任	教授	梶原 裕二 (65) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容教材論 - 生物 - 理科教育実践演習 - 動物分類形態学 - 教科内容構成論 - 理科 - ※
兼任	教授	田中 里志 (59) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容教材論 - 地学 - 理科教育実践演習 - 地質鉱物学 - 教科内容構成論 - 理科 - ※
兼任	教授	多田 知正 (53) <令和4年4月> 博士(工学)
		教科内容構成論 - 技術科 - ※ 教科内容教材論 - 技術科 - ※ 技術科教育実践演習 - 情報ネットワーク -
兼任	教授	南山 泰宏 (53) <令和4年4月> 博士(農学)
		教科内容構成論 - 技術科 - ※ 教科内容教材論 - 技術科 - ※ 技術科教育実践演習 - 生物育成 -
兼任	教授	森 孝宏 (65) <令和4年4月> 医学士
		子どもの臨床心理学的アセスメントと支援 ※ 保健体育科教育実践演習 - 学校保健 - <b>健康・生活デザインセミナー ※</b>
兼任	教授	湯川 夏子 (58) <令和4年4月> 博士(学術)
		健康・生活デザインセミナー ※ 家庭科教育実践演習 - 食生活 - 教科内容構成論 - 家庭科 - ※
兼任	教授	延原 理恵 (55) <令和4年4月> 博士(学術)
		健康・生活デザインセミナー ※ 家庭科教育実践演習 - 住生活 - 教科内容教材論 - 家庭科 - ※
兼任	教授	田中 多佳子 (65) <令和4年4月> 博士(音楽学)
		教科内容構成論 - 音楽科 - ※ 教科内容教材論 - 音楽科 - ※
兼任	教授	山口 博明 (50) <令和4年4月> 修士(音楽)
		教科内容構成論 - 音楽科 - ※ 教科内容教材論 - 音楽科 - ※ 音楽科教育実践演習 - 器楽 -

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	小笠原 真也 (58) <令和4年4月> 芸術学修士	教科内容構成論 -音楽科- ※ 教科内容教材論 -音楽科- ※ 音楽科教育実践演習 -鑑賞- 音楽科教育実践演習 -伴奏-
兼任	教授	安江 勉 (61) <令和4年4月> 芸術学修士	教科内容構成論 -美術科- ※ 教科内容教材論 -美術科- ※ 美術科教育実践演習 -デザイン-
兼任	教授	丹下 裕史 (59) <令和4年4月> 芸術学修士	教科内容構成論 -美術科- ※ 教科内容教材論 -美術科- ※ 美術科教育実践演習 -工芸-
兼任	教授	岡田 直樹 (63) <令和4年4月> 教育学士	教科内容構成論 -美術科- ※ 教科内容教材論 -美術科- ※ 美術科教育実践演習 -書道-
兼任	准教授	神代 健彦 (40) <令和4年4月> 博士(社会学)	学校における道徳教育と道徳科 ※
兼任	准教授	東村(橋本) 知子 (44) <令和4年4月> 博士(人間・環境学)	子育て支援の理論 保育内容指導法演習 ※
兼任	准教授	佐川 早季子 (43) <令和4年4月> 博士(教育学)	人間発達セミナー ※ 幼児期の教育相談
兼任	准教授	牛山 道雄 (47) <令和4年4月> 博士(教育学)	人間発達セミナー ※ 発達障害の特性と基本的対応 ※
兼任	准教授	丸山 啓史 (42) <令和4年4月> 博士(教育学)	社会と学校教育・教員における現代的課題 ※ 特別支援教育の理論と実践 ※
兼任	准教授	佐藤 美幸 (44) <令和4年4月> 博士(心身障害学)	発達障害の特性と基本的対応 ※ 生徒指導・教育相談の理論と実践C ※
兼任	准教授	中俣 尚己 (40) <令和4年4月> 博士(言語文化学)	教育実践研究セミナー ※ 教科内容構成論 -国語科- ※ 国語科教育実践演習 -日本語学-
兼任	准教授	奥村(吉江) 真紀 (47) <令和4年4月> 修士(英文学) ※	教科内容教材論 -英語科- ※ 英語科教育実践演習 -イギリス文学論-

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	小笠原 真也 (58) <令和4年4月> 芸術学修士	教科内容構成論 -音楽科- ※ 教科内容教材論 -音楽科- ※ 音楽科教育実践演習 -鑑賞- 音楽科教育実践演習 -伴奏-
兼任	教授	安江 勉 (62) <令和4年4月> 芸術学修士	教科内容構成論 -美術科- ※ 教科内容教材論 -美術科- ※ 美術科教育実践演習 -デザイン-
兼任	教授	丹下 裕史 (60) <令和4年4月> 芸術学修士	教科内容構成論 -美術科- ※ 教科内容教材論 -美術科- ※ 美術科教育実践演習 -工芸-
兼任	教授	岡田 直樹 (64) <令和4年4月> 教育学士	教科内容構成論 -美術科- ※ 教科内容教材論 -美術科- ※ 美術科教育実践演習 -書道-
兼任	准教授	神代 健彦 (41) <令和4年4月> 博士(社会学)	学校における道徳教育と道徳科 ※
兼任	准教授	東村(橋本) 知子 (45) <令和4年4月> 博士(人間・環境学)	子育て支援の理論 保育内容指導法演習 ※
兼任	准教授	佐川 早季子 (44) <令和4年4月> 博士(教育学)	人間発達セミナー ※ 幼児期の教育相談
兼任	准教授	牛山 道雄 (48) <令和4年4月> 博士(教育学)	人間発達セミナー ※ 発達障害の特性と基本的対応 ※
兼任	准教授	丸山 啓史 (43) <令和4年4月> 博士(教育学)	社会と学校教育・教員における現代的課題 ※ 特別支援教育の理論と実践 ※
兼任	准教授	佐藤 美幸 (45) <令和4年4月> 博士(心身障害学)	発達障害の特性と基本的対応 ※ 生徒指導・教育相談の理論と実践C ※
兼任	准教授	奥村(吉江) 真紀 (48) <令和4年4月> 修士(英文学) ※	教科内容教材論 -英語科- ※ 英語科教育実践演習 -イギリス文学論-

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	小笠原 真也 (60) <令和4年4月> 芸術学修士	教科内容構成論 -音楽科- ※ 教科内容教材論 -音楽科- ※ 音楽科教育実践演習 -鑑賞- 音楽科教育実践演習 -伴奏-
兼任	教授	安江 勉 (63) <令和4年4月> 芸術学修士	教科内容構成論 -美術科- ※ 教科内容教材論 -美術科- ※ 美術科教育実践演習 -デザイン-
兼任	教授	丹下 裕史 (61) <令和4年4月> 芸術学修士	教科内容構成論 -美術科- ※ 教科内容教材論 -美術科- ※ 美術科教育実践演習 -工芸-
兼任	教授	岡田 直樹 (65) <令和4年4月> 教育学士	教科内容構成論 -美術科- ※ 教科内容教材論 -美術科- ※ 美術科教育実践演習 -書道-
兼任	教授	大島 秀武 (52) <令和5年4月> 博士(学術)	健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容構成論 -保健体育科- ※ 保健体育科教育実践演習 -運動生理学-
兼任	准教授	神代 健彦 (42) <令和4年4月> 博士(社会学)	学校における道徳教育と道徳科 ※
兼任	准教授	東村(橋本) 知子 (46) <令和4年4月> 博士(人間・環境学)	人間発達セミナー ※ 子育て支援の理論 保育内容指導法演習 ※
兼任	准教授	佐川 早季子 (45) <令和4年4月> 博士(教育学)	人間発達セミナー ※ 幼児期の教育相談
兼任	教授	牛山 道雄 (49) <令和4年4月> 博士(教育学)	人間発達セミナー ※ 発達障害の特性と基本的対応 ※
兼任	准教授	丸山 啓史 (43) <令和4年4月> 博士(教育学)	社会と学校教育・教員における現代的課題 ※ 特別支援教育の理論と実践 ※
兼任	准教授	佐藤 美幸 (46) <令和4年4月> 博士(心身障害学)	発達障害の特性と基本的対応 ※ 生徒指導・教育相談の理論と実践C ※
兼任	講師	小林 賢太 (38) <令和5年4月> 博士(文学)	教科内容教材論 -国語科- ※ 国語科教育実践演習 -古典文学-
兼任	教授	奥村(吉江) 真紀 (49) <令和4年4月> 修士(英文学) ※	教科内容教材論 -英語科- ※ 英語科教育実践演習 -イギリス文学論-

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	Obermeier Andrew Stanton (56) <令和4年4月> 教育学修士号(米国)
		教科内容教材論 - 英語科 - ※ 英語科教育実践演習 - 語彙指導 -
兼任	准教授	斉藤 恵太 (40) <令和4年4月> 博士(歴史)(ドイツ)
		教科内容構成論 - 社会科 - ※ 社会科教育実践演習 - 西洋史 -
兼任	准教授	武島 良成 (52) <令和4年4月> 博士(歴史学)
		社会科教育実践演習 - 近現代史 - 教科内容教材論 - 社会科 - ※
兼任	准教授	鈴木 祥子 (45) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容教材論 - 化学 - ※ 教科内容構成論 - 理科 - ※ 理科教育実践演習 - 有機化学 -
兼任	准教授	今井 健介 (47) <令和4年4月> 博士(農学)
		教科内容教材論 - 生物 - 理科教育実践演習 - 生態学 -
兼任	准教授	藤浪(今井) 理恵子 (40) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容教材論 - 生物 - 理科教育実践演習 - 植物進化形態学 -
兼任	准教授	伊藤 伸一 (56) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容構成論 - 技術科 - ※ 教科内容教材論 - 技術科 - ※ 技術科教育実践演習 - シミュレーション情報 -
兼任	准教授	中峯 浩 (57) <令和4年4月> 博士(学術)
		教科内容構成論 - 技術科 - ※ 教科内容教材論 - 技術科 - ※ 技術科教育実践演習 - 電気 -
兼任	准教授	林 英彰 (62) <令和4年4月> 教育学修士号
		健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容構成論 - 保健体育科 - 保健体育科教育実践演習 - 体育学 -
兼任	准教授	小松崎(鬼澤) 敏 (49) <令和4年4月> 修士(教育学) ※
		教科指導実践演習C 健康・生活デザインセミナー ※
兼任	准教授	権 真煥 (40) <令和4年4月> 博士(理学)
		健康・生活デザインセミナー ※ 家庭科教育実践演習 - 生活工学とICT教育 - 教科内容教材論 - 家庭科 - ※
兼任	准教授	深沢 太香子 (49) <令和4年4月> 博士(被服環境学)
		健康・生活デザインセミナー ※ 家庭科教育実践演習 - 衣生活 - 教科内容構成論 - 家庭科 - ※
兼任	准教授	田邊(萩原) 織恵 (46) <令和4年4月> 修士(音楽)
		教科内容構成論 - 音楽科 - ※ 教科内容教材論 - 音楽科 - ※ 音楽科教育実践演習 - 声楽 -

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	Obermeier Andrew Stanton (57) <令和4年4月> 教育学修士号(米国)
		教科内容教材論 - 英語科 - ※ 英語科教育実践演習 - 語彙指導 -
兼任	准教授	斉藤 恵太 (41) <令和4年4月> 博士(歴史)(ドイツ)
		教科内容構成論 - 社会科 - ※ 社会科教育実践演習 - 西洋史 -
兼任	准教授	武島 良成 (53) <令和4年4月> 博士(歴史学)
		社会科教育実践演習 - 近現代史 - 教科内容教材論 - 社会科 - ※
兼任	准教授	鈴木 祥子 (46) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容教材論 - 化学 - ※ 教科内容構成論 - 理科 - ※ 理科教育実践演習 - 有機化学 -
兼任	准教授	今井 健介 (48) <令和4年4月> 博士(農学)
		教科内容教材論 - 生物 - 理科教育実践演習 - 生態学 -
兼任	准教授	藤浪(今井) 理恵子 (41) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容教材論 - 生物 - 理科教育実践演習 - 植物進化形態学 -
兼任	准教授	伊藤 伸一 (57) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容構成論 - 技術科 - ※ 教科内容教材論 - 技術科 - ※ 技術科教育実践演習 - シミュレーション情報 -
兼任	准教授	中峯 浩 (58) <令和4年4月> 博士(学術)
		教科内容構成論 - 技術科 - ※ 教科内容教材論 - 技術科 - ※ 技術科教育実践演習 - 電気 -
兼任	准教授	林 英彰 (63) <令和4年4月> 教育学修士号
		健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容構成論 - 保健体育科 - 保健体育科教育実践演習 - 体育学 -
兼任	准教授	小松崎(鬼澤) 敏 (50) <令和4年4月> 修士(教育学) ※
		教科指導実践演習C 健康・生活デザインセミナー ※
兼任	准教授	権 真煥 (41) <令和4年4月> 博士(理学)
		健康・生活デザインセミナー ※ 家庭科教育実践演習 - 生活工学とICT教育 - 教科内容教材論 - 家庭科 - ※
兼任	准教授	深沢 太香子 (50) <令和4年4月> 博士(被服環境学)
		健康・生活デザインセミナー ※ 家庭科教育実践演習 - 衣生活 - 教科内容構成論 - 家庭科 - ※
兼任	准教授	田邊(萩原) 織恵 (47) <令和4年4月> 修士(音楽)
		教科内容構成論 - 音楽科 - ※ 教科内容教材論 - 音楽科 - ※ 音楽科教育実践演習 - 声楽 -

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	Obermeier Andrew Stanton (58) <令和4年4月> 教育学修士号(米国)
		教科内容教材論 - 英語科 - ※ 英語科教育実践演習 - 語彙指導 -
兼任	准教授	斉藤 恵太 (42) <令和4年4月> 博士(歴史)(ドイツ)
		教科内容構成論 - 社会科 - ※ 社会科教育実践演習 - 西洋史 -
兼任	教授	武島 良成 (54) <令和4年4月> 博士(歴史学)
		社会科教育実践演習 - 近現代史 - 教科内容教材論 - 社会科 - ※
兼任	准教授	鈴木 祥子 (47) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容教材論 - 化学 - ※ 教科内容構成論 - 理科 - ※ 理科教育実践演習 - 有機化学 -
兼任	教授	今井 健介 (49) <令和4年4月> 博士(農学)
		教科内容教材論 - 生物 - 理科教育実践演習 - 生態学 -
兼任	准教授	藤浪(今井) 理恵子 (42) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容教材論 - 生物 - 理科教育実践演習 - 植物進化形態学 -
兼任	准教授	伊藤 伸一 (58) <令和4年4月> 博士(理学)
		教科内容構成論 - 技術科 - ※ 教科内容教材論 - 技術科 - ※ 技術科教育実践演習 - シミュレーション情報 -
兼任	准教授	中峯 浩 (59) <令和4年4月> 博士(学術)
		教科内容構成論 - 技術科 - ※ 教科内容教材論 - 技術科 - ※ 技術科教育実践演習 - 電気 -
兼任	准教授	林 英彰 (64) <令和4年4月> 教育学修士号
		健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容構成論 - 保健体育科 - 保健体育科教育実践演習 - 体育学 -
兼任	教授	小松崎(鬼澤) 敏 (51) <令和4年4月> 修士(教育学) ※
		教科指導実践演習C 健康・生活デザインセミナー ※
兼任	准教授	権 真煥 (42) <令和4年4月> 博士(理学)
		健康・生活デザインセミナー ※ 家庭科教育実践演習 - 生活工学とICT教育 - 教科内容教材論 - 家庭科 - ※
兼任	教授	深沢 太香子 (51) <令和4年4月> 博士(被服環境学)
		健康・生活デザインセミナー ※ 家庭科教育実践演習 - 衣生活 - 教科内容構成論 - 家庭科 - ※
兼任	准教授	田邊(萩原) 織恵 (48) <令和4年4月> 修士(音楽)
		教科内容構成論 - 音楽科 - ※ 教科内容教材論 - 音楽科 - ※ 音楽科教育実践演習 - 声楽 -

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	増田(岡田) 真結 (40) ＜令和4年4月＞ 博士(音楽)
		教科内容構成論 -音楽科- ※ 教科内容教材論 -音楽科- ※ 音楽科教育実践演習 -創作-
兼任	准教授	日野 陽子 (55) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		教科内容構成論 -美術科- ※ 教科内容教材論 -美術科- ※
兼任	講師	比良(アンゾウア) 友佳理 (35) ＜令和4年4月＞ 博士(法学)
		教育実践研究セミナー ※ 教科内容構成論 -社会科- ※ 社会科教育実践演習 -法律-
兼任	講師	川原田(後藤田) 茜 (37) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		教科内容構成論 -数学科- ※ 数学科教育実践演習 -応用数学-
兼任	講師	水上 雅昭 (29) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		教科内容構成論 -数学科- ※ 数学科教育実践演習 -解析-
兼任	講師	染谷 藤重 (32) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学) ※
		教科内容教材論 -英語科- ※
兼任	講師	浅沼 徹 (34) ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)
		健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容教材論 -保健体育科- ※ 保健体育科教育実践演習 -健康社会学-
兼任	講師	岡田 雄樹 (34) ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)
		健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容構成論 -保健体育科-

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	増田(岡田) 真結 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(音楽)
		教科内容構成論 -音楽科- ※ 教科内容教材論 -音楽科- ※ 音楽科教育実践演習 -創作-
兼任	准教授	日野 陽子 (56) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		教科内容構成論 -美術科- ※ 教科内容教材論 -美術科- ※
兼任	講師	比良(アンゾウア) 友佳理 (36) ＜令和4年4月＞ 博士(法学)
		教育実践研究セミナー ※ 教科内容構成論 -社会科- ※ 社会科教育実践演習 -法律-
兼任	講師	川原田(後藤田) 茜 (38) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		教科内容構成論 -数学科- ※ 数学科教育実践演習 -応用数学-
兼任	講師	水上 雅昭 (30) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		教科内容構成論 -数学科- ※ 数学科教育実践演習 -解析-
兼任	講師	染谷 藤重 (33) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学) ※
		教科内容教材論 -英語科- ※
兼任	講師	浅沼 徹 (35) ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)
		健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容教材論 -保健体育科- ※ 保健体育科教育実践演習 -健康社会学-
兼任	講師	岡田 雄樹 (35) ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)
		健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容構成論 -保健体育科-

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	増田(岡田) 真結 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(音楽)
		教科内容構成論 -音楽科- ※ 教科内容教材論 -音楽科- ※ 音楽科教育実践演習 -創作-
兼任	准教授	日野 陽子 (57) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		教科内容構成論 -美術科- ※ 教科内容教材論 -美術科- ※ <b>美術科教育実践演習 -美術教育史-</b>
兼任	講師	比良(アンゾウア) 友佳理 (37) ＜令和4年4月＞ 博士(法学)
		教育実践研究セミナー ※ 教科内容構成論 -社会科- ※ 社会科教育実践演習 -法律-
兼任	講師	川原田(後藤田) 茜 (39) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		教科内容構成論 -数学科- ※ 数学科教育実践演習 -応用数学-
兼任	講師	水上 雅昭 (31) ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		教科内容構成論 -数学科- ※ 数学科教育実践演習 -解析-
兼任	准教授	染谷 藤重 (34) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学) ※
		教科内容教材論 -英語科- ※
兼任	講師	浅沼 徹 (36) ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)
		健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容教材論 -保健体育科- ※ 保健体育科教育実践演習 -健康社会学-
兼任	講師	岡田 雄樹 (36) ＜令和4年4月＞ 博士(体育科学)
		健康・生活デザインセミナー ※ 教科内容構成論 -保健体育科-
兼任	講師	中村 環仁 (37) ＜令和5年4月＞ 博士(人間科学)
		<b>社会と学校教育・教員における現代的課題 ※</b>
兼任	講師	吉安 徹 (37) ＜令和5年4月＞ 博士(数理学)
		<b>教科内容構成論 -数学科- ※</b>
兼任	講師	亀田 直記 (40) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		<b>教科内容教材論 -地学- 理科教育実践演習 -理科教育学-</b>
兼任	講師	山下 良樹 (41) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		<b>教科内容教材論 -物理- 理科教育実践演習 -放射線物理学-</b>
兼任	講師	赤井 淳嗣 (35) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		<b>教科内容構成論 -技術科- ※ 教科内容教材論 -技術科- ※ 技術科教育実践演習 -機械-</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	講師	小栗 優貴 (29) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)  教科内容構成論 - 社会科 - 教科内容教材論 - 社会科 -
						兼任	講師	西藤 幹 (32) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)  教科内容構成論 - 美術科 - 教科内容教材論 - 美術科 - 美術科教育実践演習 - 絵画 -
						兼任	講師	松本 歩子 (39) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)  健康・生活デザインセミナー ※ 家庭科教育実践演習 - 保育 -
兼任	教授	水本 徳明 (64) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学) 学校づくりと学校経営A 学校組織改善の理論と手法 教職員の意識と成長 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ	兼任	教授	水本 徳明 (65) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学) 学校づくりと学校経営A 学校組織改善の理論と手法 教職員の意識と成長 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ	兼任	教授	水本 徳明 (66) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学) 学校づくりと学校経営A 学校組織改善の理論と手法 教職員の意識と成長 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
兼任	教授	角田 豊 (59) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学) 学校臨床とかかわり合う力A 学校臨床とかかわり合う力B 子ども理解と臨床技法 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ	兼任	教授	角田 豊 (60) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学) 学校臨床とかかわり合う力A 学校臨床とかかわり合う力B 子ども理解と臨床技法 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ	兼任	教授	角田 豊 (61) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学) 学校臨床とかかわり合う力A 学校臨床とかかわり合う力B 子ども理解と臨床技法 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
兼任	准教授	青砥 弘幸 (40) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学) 教科指導実践演習A 授業デザインとICT活用A ※ 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ	兼任	准教授	青砥 弘幸 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学) 教科指導実践演習A 授業デザインとICT活用A ※ 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ	兼任	准教授	青砥 弘幸 (42) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学) 教科指導実践演習A 授業デザインとICT活用A ※ 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ
兼任	准教授	森口 洋一 (60) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学) 教科指導実践演習B 授業力高度化演習 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ	兼任	准教授	森口 洋一 (61) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学) 教科指導実践演習B 授業力高度化演習 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ	兼任	准教授	森口 洋一 (62) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学) 教科指導実践演習B 授業力高度化演習 学校臨床専門実習Ⅰ 学校臨床専門実習Ⅱ 省察実践研究Ⅰ 省察実践研究Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任・兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任・兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・樋口万太郎准教授（実み）が本学附属学校教員を自己都合退職したことにより、実務家教員としての就任を辞退。
- ・中俣尚己准教授（兼担）が自己都合退職により、就任辞退。
- ・吉川孝教授（実専）が就任。
- ・山下和美教授（実専）が就任。
- ・小長谷直樹教授（実専）が就任。
- ・中下和之准教授（実専）が就任。
- ・戸田有一准教授（実み）が就任。
- ・河村健太准教授（実み）が就任。
- ・千種朋子准教授（実み）が就任。
- ・辻村重子准教授（実み）が就任。
- ・柳生和代准教授（実み）が就任。
- ・湯浅康次准教授（実み）が就任。
- ・田爪宏二准教授（専）が教授に昇任。

【令和5年度】

- ・令和4年度に就任辞退した樋口万太郎准教授（実み）の後任として若松俊介准教授（実み）が就任。
- ・令和4年度に就任辞退した中俣尚己准教授（兼担）の後任として小林賢太講師（兼担）が就任。
- ・新谷幸三准教授（実専）が辞任し、後任として吉田秀紀准教授（実専）が就任。
- ・永尾彰子准教授（実み）が辞任し、後任として新田浩准教授（実み）が就任。
- ・藤田智之准教授（実み）が辞任し、後任として高田陽子准教授（実み）が就任。
- ・岡本幹准教授（実み）が辞任し、後任として吉田耕平准教授（実み）が就任。
- ・北岡淳子准教授（実み）が辞任し、後任として木村進哉准教授（実み）が就任。
- ・辻村重子准教授（実み）が辞任し、後任として樋田博樹准教授（実み）が就任。
- ・柳生和代准教授（実み）が辞任し、後任として奥景子准教授（実み）が就任。
- ・湯浅康次准教授（実み）が辞任し、後任として田邊美野利准教授（実み）が就任。
- ・深尾武史教授（兼担）が辞任し、後任として熊崎耕太教授（兼担）が就任。
- ・大島秀武教授（兼担）が就任。
- ・中村瑛仁講師（兼担）が就任。
- ・吉安徹講師（兼担）が就任。
- ・亀田直記講師（兼担）が就任。
- ・山下良樹講師（兼担）が就任。
- ・赤井淳嗣講師（兼担）が就任。
- ・小栗優貴講師（兼担）が就任。
- ・西園静講師（兼担）が就任。
- ・松本歩子講師（兼担）が就任。
- ・牛山道雄准教授（兼担）が教授昇任。
- ・武島良成准教授（兼担）が教授昇任。
- ・奥村真紀准教授（兼担）が教授昇任。
- ・今井健介准教授（兼担）が教授昇任。
- ・小松崎敏准教授（兼担）が教授昇任。
- ・深沢太香子准教授（兼担）が教授昇任。
- ・柴谷藤重講師（兼担）が准教授昇任。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数
37 名	19 名	15 名

(注)・ 専門職大学院に関し必要な事項について定める件（平成十五年三月三十一日文科科学省告示第五十三号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【専門職大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
28	19	1	0	48	0	32	25	1	0	58	0
32	24	1	0	57	0						
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数	研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数		
33	15	9		0	33	25	15		0		
(33)	(24)	(14)		(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
32	25	1	0	58	0	32	25	1	0	58	0
[4]	[6]	[0]	[0]	[10]	[0]	[4]	[6]	[0]	[0]	[10]	[0]
研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数	研究者教員数	実務家教員数	みなし専任教員数		講義のみ担当の教員数		
33	25	15		0	33	25	15		0		
[0]	[10]	[6]		[0]	[0]	[10]	[6]		[0]		

(注)・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、**認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）**  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	5 名	5 名

(注)・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{58}{48} = \boxed{120.83} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{5}{58} = \boxed{8.62} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	樋口 万太郎	R4.3	選択	カリキュラムの開発と実践C	①	令和4年3月31日付けで本学附属学校教員を自己都合退職したことにより、実務家教員としての就任を辞退した（4）			
				選択	授業デザインとICT活用C	①				
				選択	教科研究専門実習Ⅰ	①				
				選択	教科研究専門実習Ⅱ	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	新谷 幸三	R5.3	選択	授業力高度化演習	①	令和5年3月31日付け公立学校転出（5）			
				選択	生徒指導・教育相談の理論と実践B	①				
				選択	学校臨床専門実習Ⅰ	①				
				選択	学校臨床専門実習Ⅱ	①				
				選択	省察実践研究Ⅰ	①				
				選択	省察実践研究Ⅱ	①				
2	准教授	永尾 彰子	R5.3	選択	学校臨床とかかわり合う力A	①	令和5年3月31日付け公立学校転出（5）			
				選択	子ども理解と臨床技法	①				
				選択	学校臨床専門実習Ⅰ	①				
				選択	学校臨床専門実習Ⅱ	①				
3	准教授	藤田 智之	R5.3	選択	教科指導実践演習C	①	令和5年3月31日付け自己都合退職（5）			
				選択	学級経営の実践と課題C	①				
				選択	教科研究専門実習Ⅰ	①				
4	准教授	岡本 幹	R5.3	選択	授業デザインとICT活用C	①	令和5年3月31日付け自己都合退職（5）			
				選択	社会と学校教育・教員における現代的課題	①				
				選択	教科研究専門実習Ⅰ	①				
				選択	教科研究専門実習Ⅱ	①				
5	准教授	北岡 淳子	R5.3	選択	生徒指導・教育相談実践演習	①	令和5年3月31日付け辞任（病気療養のため）（5）			
				選択	幼児期の教育相談	①				
				選択	教科研究専門実習Ⅰ	①				
				選択	教科研究専門実習Ⅱ	①				
6	准教授	辻村 重子	R5.3	選択	学級経営の実践と課題C	①	令和5年3月31日付け公立学校転出（5）			
				選択	教科カリキュラム開発セミナー	①				
				選択	教科研究専門実習Ⅰ	①				
7	准教授	柳生 和代	R5.3	選択	教科研究専門実習Ⅱ	①	令和5年3月31日付け公立学校転出（5）			
				選択	子育て支援の理論	①				
				選択	子育て支援の実践	①				
				選択	教科研究専門実習Ⅰ	①				
8	准教授	湯浅 康次	R5.3	選択	教科研究専門実習Ⅱ	①	令和5年3月31日付け公立学校転出（5）			
				選択	教科授業開発セミナー	①				
				選択	教科カリキュラム開発セミナー	①				
				選択	教科研究専門実習Ⅰ	①				
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
8	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	34	科目	選択	34	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	34	科目	計	34	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
9	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	38	科目	選択	38	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	38	科目	計	38	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{9}{48} = \boxed{18.75} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

#### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

5(3)－①の番号1については、本学の附属学校教員で、実務家教員のみなし専任教員として就任する予定であったが、自己都合退職したものである。令和4年度においては、担当予定だった科目には他に1名の実務家のみなし専任教員が配置されているため授業の運営に支障は生じないものとする。学生に対してはオリエンテーション及び学内掲示等により周知を行った。また、令和5年度には後任補充を行った。

5(3)－②の番号1, 2, 6, 7, 8については、公立学校の管理職や指導主事及びその経験者で、連携教育委員会との連携協定に基づき配置している実務家のみなし専任教員であり、連携教育委員会の公立学校管理職の人事上の都合により、公立学校転出となった。後任は、連携教育委員会から令和5年4月に補充したため、教育研究上の支障は生じないものとする。学生に対してはオリエンテーション及び学内掲示等により周知を行った。

5(3)－②の番号3, 4, 5については、本学の附属学校教員で、実務家教員のみなし専任教員であったが、自己都合退職又は病気療養のため辞任したものである。後任は、5(1)－①のとおり、本学の附属学校教員から新たに後任を補充しているため、授業の運営に支障は生じないものとする。学生に対してはオリエンテーション及び学内掲示等により周知を行った。

なお、教職大学院は理論と実践の往還を通じての学修が中心であることから、実務家教員を当初の設置計画に10名を加えて配置し、令和5年度も引き続き同様の配置となっている。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
    - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
    - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)(5)」と記載してください。
    - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】  
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <連合教職実践研究科 教職実践専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	—

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

連合教職実践研究科教授会のもとに運営委員会を設置し、FD・SD活動を計画実施している。また、法人として「教学支援室」を設置しており、大学全体のFD・SD活動の点検評価等を行っている。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和4年度は17回開催した。連合教職実践研究科運営委員会の構成員は、研究科長、研究科担当副学長、主任等、であり、毎回ほぼ全員が出席している。

###### c 委員会の審議事項等

- ・ 中期目標・中期計画及び年度計画の原案の作成に関する事
- ・ 自己評価の原案の作成に関する事
- ・ 諸規程の制定改廃の原案の作成に関する事
- ・ 予算配分基本方針の原案の作成に関する事
- ・ 研究に関する事
- ・ 教員の人事に関する原案の作成に関する事
- ・ 学生の募集及び入学選抜の方法と実施に関する事
- ・ 入学選抜試験の可否判定の原案作成に関する事項及びその他入試に関する事
- ・ 教育課程に関する事
- ・ 単位認定及び教職修士の学位授与に関する事
- ・ 休学、退学及び除籍に関する事項及びその他教務に関する事
- ・ 学生の生活支援、修学支援、就職対策の計画・実施及びその他学生生活に関する事
- ・ その他研究科運営に必要な事項

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

- ・ 授業公開の実施（令和4年6月19～23日）
- ・ 学生と教員の他、修了生も構成メンバーとする研究会「教育研究会」の開催（令和4年8月11日）
- ・ 「教職専門実習の指導に係る研修会」（令和5年2月8日）
- ・ 授業アンケートの実施（前期・後期それぞれの最終授業回に実施）
- ・ 修了予定者からの実践報告や教員によるシンポジウム等を行う「実践報告フォーラム」の開催（令和5年2月11日）

###### b 実施方法

- ・ 授業公開については、大学院の授業担当教員が他の教員の授業を参観することで授業改善につなげることを目的として実施した。併せて学部学生等の入学希望者が授業を参観できる機会とした。
- ・ 「教育研究会」は、大学院同窓会総会と同時開催であり、令和4年度は、教職大学院の新しいカリキュラムを意識したテーマ「専門実習から考える教職大学院のカリキュラムー実践と研究をつなぐー」を設定。新カリキュラムに基づく新しい実習について紹介した後、先進的な事例について福井大学教職大学院の教員から講演をいただき、グループディスカッションののち、全体討議を行った。
- ・ 「教職専門実習の指導に係る研修会」は、研究科教授会にあわせて行った。系主任や実務家教員等から、教職専門実習のねらい、実習の内容、省察、研究授業、指導及び評価等の概要及び実施方法について再確認し、教職専門実習の指導等にこれから携わる各教員の理解を深めた。
- ・ 授業アンケートについては、下記③のとおり。
- ・ 「実践報告フォーラム」については、「教職大学院における教育評価の力量形成」をテーマとし、令和4年度の活動報告のほか、「今求められる教師の評価リテラシーとは何か」をテーマとする講演、「教職大学院で教育評価の力量をどう形成するのか」をテーマとするシンポジウムを実施。

###### c 実施状況（教員の参加状況含む）

「教育研究会」については、学生、教員すべて参加し、修了生その他学外者を含めて、約130名が参加した。教職専門実習の指導に係る研修会は、研究科教授会出席者（准教授等を含む）がすべて参加した。「実践報告フォーラム」については、本学教職員40名、在籍学生78名、学校関係者及び教育委員会関係者16名を含む外部参加者36名が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

上記の内容については、教授会後に開催する「教員連絡会議」にて、内容や結果の分析などを行い、必要な情報共有と率直な意見交換を行い、授業改善へつなげた。また、自己評価書を作成し、取組を総括した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学生に対して授業アンケートを前期・後期の各科目の最終回に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果を集計・分析し、情報共有を行った。また、当該アンケート結果について担当教員からコメント（改善策を含む）を求め、とりまとめの上、「院生協議会」において学生に公開した。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

本学では、従来から行っている地域の教育委員会との連携をさらに発展させ、地域の教員養成機能の中心的役割を担い、教員養成の質的向上を図ることを目的として、平成27年度に、本学役員及び副学長等、地域の教育委員会の幹部、公立小・中・高等学校の校長会会長等を構成員とする「京都教育大学連携協議会」を発足させた。学部・大学院における教員養成、現職教員支援等についてのアドバイザーボードとして、従来から機能している。その後、平成30年度に学校教育法及び専門職大学院設置基準の改正に伴い、同協議会の構成員の見直し等の規程整備を実施し、教職大学院の教育課程連携協議会としての役割を明確にした。

連携協議会の規程において、次の各号に掲げる委員をもって組織することを定めている。

(令和4年度の委員名簿は別添のとおり)

- ①学長が指名する理事
- ②副学長（労務・財務担当）
- ③副学長（連合教職実践研究科担当）
- ④教育創生リージョナルセンター機構長
- ⑤京都府教育委員会から推薦された者
- ⑥京都市教育委員会から推薦された者
- ⑦京都府の公立小学校、公立中学校及び高等学校の長 各1名
- ⑧京都市の公立小学校、公立中学校及び高等学校の長 各1名
- ⑨その他必要に応じて学長が委嘱する者

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

令和4年度は、令和4年11月21日と令和5年2月28日の2回開催した。

c 委員会の審議事項等

連携協議会の規程において、大学院連合教職実践研究科における教育課程の編成及び実施に関する事など、次に掲げる事項を審議等し、必要に応じて学長に意見を述べることを定めている。

- ①本学の卒業・修了者に関する事
- ②地域の教育課題に関する事
- ③本学の教員養成及び現職教員の支援に関する事
- ④大学院連合教職実践研究科における教育課程の編成及び実施に関する事
- ⑤その他京都府教育委員会及び京都市教育委員会との連携協定等に基づく各種事業に関する事

② 審議状況

a 審議した内容

令和4年度は改組した1年目であることから、入学者選抜実施状況、連携協力校での教職専門実習の実施状況について審議した。また、令和4年12月の中央教育審議会答申をもとに、教員養成から教員就職、教員研修、教師不足や教員の働き方改革について、意見交換を行った。

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

令和4年度は改組した1年目であり、今後の修了者の状況や学校現場での課題等を審議していく予定である。

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

令和4年度は改組した1年目であり、今後の修了者の状況や学校現場での課題等を審議していく予定である。

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和4年度に開設し、当初設定したとおり順調に進捗している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施していきたい。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

・令和6年8月下旬 公表予定

###### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

##### ③ 認証評価を受ける計画

・令和7年度に一般財団法人教員養成評価機構の教職大学院認証評価を受審すべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。